

対象校No.

注4

学校コード F113310103037

注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

実践女子大学 環境デザイン学部

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書  
(改正後大学設置基準適用)

学校法人実践女子学園

令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

学長室

職名・氏名

シチョウ ヤマグチ ダイサク  
次長・山口 大作

電話番号

042-585-8813 (内線: 1341)

(夜間)

—

e-mail

gakucho-s@jissen.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合: 「〇〇大学」

・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、  
該当番号を記載してください。

# 目次

## 環境デザイン学部

＜環境デザイン学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教育研究実施組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	45
7. その他全般的事項	46

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人実践女子学園

## (2) 大学名

実践女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒191-8510  
東京都日野市大坂上4-1-1

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(キジマ ヨウコ) 木島 葉子 (令和6年4月)		
学長	(ナンバ マサノリ) 難波 雅紀 (令和3年4月)		
学部長	(タチバナ ヒロシ) 橋 弘志 (令和7年4月)		
学科長等	(オオカワ トモコ) 大川 知子 (令和7年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

( )書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。  
 ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。  
 ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。  
 ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
環境デザイン学部 環境デザイン学科 学士(環境デザイン学)	家政関係	4年	81人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	324人		

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。  
 ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期												
A 入学定員	人 ( ) [ ]	81人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	-	1.39倍	-										
志願者数	( ) [ ]	1103 [ ]	( ) [ ]	春季入学以外の入学時期と入学定員内訳												
受験者数	( ) [ ]	1055 [ ]	( ) [ ]													
合格者数	( ) [ ]	378 [ ]	( ) [ ]													
B 入学者数	( ) [ ]	113 [ ]	( ) [ ]													
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.39	-				

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。  
 ・( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・転入学学生は記入しないでください。  
 ・[ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期は「-」を記入してください。  
 ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)  
 ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。  
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項より修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。  
 ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1 年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	113	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2 年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3 年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4 年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	113	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ [ ]内には、**留学生の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	113 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	- 人	- 人				
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。  
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。  
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。  
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{113} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。





科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の選考を兼ねる(助手以外)
				必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目・学科共通科目群	環境デザイン学入門	1前	○	2			7	3				
	環境デザイン学演習	2後	○	2			7	3				
	環境デザイン学セミナー	3通	○	2			7	3				
	卒業研究	4通	○	6			7	3				
	基礎演習a	1前			2				1			
	基礎演習b	1前			2				1			
	基礎演習c	1後			2				1			
	統計の基礎	1後			2			1				
	デザイン基礎演習a	1前			2					1		
	デザイン基礎演習b	1前			2					1		
	色彩学	1後			2						1	
	色彩設計演習a	2後			2							1
	色彩設計演習b	2後			2							1
	デザイン史	2後			2							1
	デザイン思考	3前			2							1
	マテリアル・デザイン	1前			2				1			
	生活材料学	3後			2							1
	人体生理学	1後			2					1		
	人体生理学実験	2後			2						1	
	人間工学	2前			2						1	
	人間工学実験	2後			2							1
環境心理学	2前			2							1	
小計(22科目)	-			12	36	0	7	3	0	0	0	3
専門教育科目・アパレル・ファッション科目群	繊維高分子材料学	1後			2				1			
	繊維高分子材料実験	2前			2							1
	テキスタイル材料学	2後			2							1
	テキスタイル材料実験	3前			2							1
	機能材料学	3後			2							1
	テキスタイル管理学	2前			2				1			
	テキスタイル管理実験	2後			2					1		
	染色加工学	3前			2						1	
	生活環境科学	3後			2							1
	被服衛生学	4前			2							1
	衣料管理実習	1後			1					1		
	アパレル製作基礎演習	1後			2						1	
	アパレル製作基礎	2前			2							1
	アパレル製作実習	2前		○	2							1
	ファッションデザイン論	1前			2							1
	ファッションドローイング	1後			2							1
	ファッションデザイン演習1	3前			2							1
	ファッションデザイン演習2	3後			2							1
	立体裁断	2後			2							1
	アパレルCAD a	2後			2							1
	アパレルCAD b	3前			2							1
伝統衣服実習	3前			2							1	
ファッションビジネスの世界	1後			2							1	
ファッションビジネス論	2前			2							1	
ファッションビジネス演習	4前			2							1	
ファッション文化論	3前			2							1	
アパレル生産	2後			2							1	
消費生活学	2前			2							1	
マーケティング論	3後			2							1	
マーケティングリサーチ	3後			2							1	
ファッション企画論	3後			2							2	
消費科学	4前			2							1	
小計(32科目)	-			0	63	0	3	2	0	0	0	7
専門教育科目・プロダクト・インテリア科目群	プロダクトデザイン概論	1前	○		2							
	基礎造形論	1後			2							1
	材料加工演習	2前			2							1
	プロダクトデザイン論	2前		○	2							1
	プロダクトデザイン演習a	2後			2							1
	プロダクトデザイン演習b	3後			2							1
	デザインマネジメントa	3前			2							1
	デザインマネジメントb	4前			2							1
	プロダクトCAD	3前			2							1
	ユニバーサルデザイン論	3後			2							1
	ビジュアルデザインa	2前			2							1
	ビジュアルデザインb	3前			2							1
	情報デザイン論	1前			2							1
	情報デザイン演習	2後			2							1
	感性科学	3前			2							1
	ユーザーエクスペリエンス	3後			2							1
	インテリアデザイン論	2前			2							1
	インテリアデザイン演習	2後			2							1
	インテリアコーディネート論	3前			2							1
	インテリアコーディネート演習	3後			2							1
	光環境デザイン	3前			2							1
小計(21科目)	-			0	42	0	3	0	0	0	0	4
専門教育科目・建築・住環境デザイン科目群	建築概論	1前	○		2							
	住居学	1前			2							
	住居デザイン論	1後			2							
	住環境デザイン論	2前			2							
	福祉住環境論	2後			2							
	生活空間計画	3前			2							
	建築デザイン論	3後			2							
	設計製図基礎	1後			2							
	空間造形基礎	2前			2							
	生活空間設計製図1	2後			2							
	生活空間設計製図2	3前			2							
	生活空間設計製図3	3後			2							
	建築CAD	2後			2							
	建築構造	1後			2							
	建築・インテリア構法	2前			2							
	建築施工	2後			2							
	構法・構造演習	3前			2							
	材料力学	3前			2							
	生活環境工学	1前			2							
	住環境・設備学	3後			2							
	建築法規	4前			2							
小計(21科目)	-			0	42	0	3	1	0	0	0	3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の選考を兼ねる(助手以外)
				必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目・学科共通科目群	環境デザイン学入門	1前	○	2			5	3				
	環境デザイン学演習	2後	○	2			7	3				
	環境デザイン学セミナー	3通	○	2			7	3				
	卒業研究	4通	○	6			7	3				
	基礎演習a	1前			2				1			
	基礎演習b	1前			2				1			
	基礎演習c	1後			2				1			
	統計の基礎	1後			2				1			
	デザイン基礎演習a	1前			2					1		
	デザイン基礎演習b	1前			2					1		
	色彩学	1後			2							1
	色彩設計演習a	2後			2							1
	色彩設計演習b	2後			2							1
	デザイン史	2後			2							1
	デザイン思考	3前			2							1
	マテリアル・デザイン	2後			2							1
	生活材料学	1前			2				1			
	人体生理学	3後			2							1
	人体生理学実験	1後			2					1		
	人間工学	2後			2						1	
	人間工学実験	2前			2						1	
環境心理学	2後			2							1	
小計(22科目)	-			12	36	0	7	3	0	0	0	5
専門教育科目・アパレル・ファッション科目群	繊維高分子材料学	1後			2				1			
	繊維高分子材料実験	2前			2							1
	テキスタイル材料学	2後			2							1
	テキスタイル材料実験	3前			2							1
	機能材料学	3後			2							1
	テキスタイル管理学	2前			2					1		
	テキスタイル管理実験	2後			2						1	
	染色加工学	3前			2						1	
	生活環境科学	3後			2							1
	被服衛生学	4前			2							1
	衣料管理実習	3後			1					1		
	アパレル製作基礎演習	1後			2						1	
	アパレル製作基礎	2前			2							1
	アパレル製作実習	2前			2							1
	ファッションデザイン論	1前			2							1
	ファッションドローイング	1後			2							1
	ファッションデザイン演習1	3前			2							1
	ファッションデザイン演習2	3後			2							1
	立体裁断	2後			2							1
	アパレルCAD a	2後			2							1
	アパレルCAD b	3前			2							1
伝統衣服実習	3前			2							1	
ファッションビジネスの世界	1後			2							1	
ファッションビジネス論	2前			2							1	
ファッションビジネス演習	4前			2							1	
ファッション文化論	3前			2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の選を履修し、助手以外
				必修	選択	自由	教	准	講	助	助	
合 専 門 教 育 科 目 ・ 群 総	コミュニティデザイン論a	2後	○	2			1					
	コミュニティデザイン論b	3後		2				1				
	環境デザインプロジェクトa	2前	○	2		2						
	環境デザインプロジェクトb	2前	○	2		1						
	ワークショップ演習	1後	○	2			1					
	コミュニティデザイン演習	3前	○	2			1					
	総合設計演習	4前		2		2						
小計(7科目)	-		0	14	0	5	1	0	0	0	0	
専 門 教 育 科 目 ・ オ ー プ ン	環境デザイン特論a	1前		2		1						
	環境デザイン特論b	1後		2		1						
小計(2科目)	-		0	4	0	2	0	0	0	0	0	
専 門 教 育 科 目 ・ 関 連 科 目 群	調理学及び実習	3後		2							1	
	栄養学	1後		2							1	
	食物学	3前		2							1	
	衣料学	2後		2							1	
	衣料学演習	2後		2							1	
	被服実習a	2前		2							1	
	被服実習b	2前		2							1	
	被服実習c	2後		2							1	
	家庭経営学	1後		2							1	
	生活経済学	1前		2							1	
	家族関係学	2前		2							1	
	保育学	2後		2							1	
	育児学	3後		2							1	
	看護学	2後		2							1	
小計(14科目)	-		0	28	0	0	0	0	0	0	11	
専 門 教 育 科 目 ・ 教 職 に 関 す る 専 門 科 目	教職入門	1後		2							1	
	教育原理	1後		2							2	
	発達・学習理論	2前		2							1	
	教育制度	2前		2							1	
	教育課程論	2前		1							1	
	特別支援教育論	2後		1							1	
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3後		2							1	
	家庭科教育法(1)	2前		2							1	
	家庭科教育法(2)	2後		2							1	
	家庭科教育法(3)	3前		2							1	
	家庭科教育法(4)	3後		2							1	
	道徳教育指導論	3前		2							1	
	教育方法・技術論(ICT活用含む)	2後		2							1	
	生徒・進路指導論	3前		2							1	
	教育相談	3後		2							1	
	教育実習A	4前		5							1	
	教育実習B	4前		3							1	
	教職実践演習(中・高)	4後		2							1	
	介護支援基礎論	2後		1							1	
	介護等体験	3通		1							1	
	教職研究a	2前		2							1	
教職研究b	2前		2							1		
教職研究c	2後		2							1		
教職研究d	2後		2							1		
教職研究e	3後		2							1		
小計(25科目)	-		0	0	50	0	0	0	0	0	13	
合計(313科目)	-		20	507	50	7	3	0	0	0	205	

卒業要件及び履修方法

①共通教育科目：必修科目8単位、選択必修科目8単位以上(「人間を究める」「社会を捉える」「自然と環境を探る」の分野から各2単位以上、「情報リテラシー教育科目」から2単位以上)、合計28単位  
 ②専門教育科目：必修科目12単位、選択必修科目30単位以上、合計82単位  
 ③その他：①、②の要件の他、共通教育科目、専門教育科目の選択科目から合計20単位以上

①、②、③の要件を満たし、合計130単位以上  
 (履修登録単位数の制限：各学期(セメスター)22単位)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の選を履修し、助手以外
				必修	選択	自由	教	准	講	助	助	
合 専 門 教 育 科 目 ・ 群 総	コミュニティデザイン論a	2後	○	2			1					
	コミュニティデザイン論b	3後		2				1				
	環境デザインプロジェクトa	2前	○	2		2						
	環境デザインプロジェクトb	2前	○	2		1						
	ワークショップ演習	1後	○	2			1					
	コミュニティデザイン演習	3前	○	2			1					
	総合設計演習	4前	○	2		2						
小計(7科目)	-		0	14	0	5	1	0	0	0	0	
専 門 教 育 科 目 ・ オ ー プ ン	環境デザイン特論a	1前		2		1						
	環境デザイン特論b(未開講)	1後		2		1						
小計(2科目)	-		0	4	0	2	0	0	0	0	0	
専 門 教 育 科 目 ・ 関 連 科 目 群	調理学及び実習	3後		2							1	
	栄養学	1後		2							1	
	食物学	3前		2							1	
	衣料学	2後		2							1	
	衣料学演習	2後		2							1	
	被服実習a	2前		2							1	
	被服実習b	2前		2							1	
	被服実習c	2後		2							1	
	家庭経営学	1後		2							1	
	生活経済学	1前		2							1	
	家族関係学	2前		2							1	
	保育学	2後		2							1	
	育児学	3後		2							1	
	看護学	2後		2							1	
小計(14科目)	-		0	28	0	0	0	0	0	1	0	
専 門 教 育 科 目 ・ 教 職 に 関 す る 専 門 科 目	教職入門	1後		2							1	
	教育原理	1後		2							2	
	発達・学習理論	2前		2							1	
	教育制度	2前		2							1	
	教育課程論	2前		1							1	
	特別支援教育論	2後		1							1	
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3後		2							1	
	家庭科教育法(1)	2前		2							1	
	家庭科教育法(2)	2後		2							1	
	家庭科教育法(3)	3前		2							1	
	家庭科教育法(4)	3後		2							1	
	道徳教育指導論	3前		2							1	
	教育方法・技術論(ICT活用含む)	2後		2							1	
	生徒・進路指導論	3前		2							1	
	教育相談	3後		2							1	
	教育実習A	4前		5							1	
	教育実習B	4前		3							1	
	教職実践演習(中・高)	4後		2							1	
	介護支援基礎論	2後		1							1	
	介護等体験	3通		1							1	
	教職研究a	2前		2							1	
教職研究b	2前		2							1		
教職研究c	2後		2							1		
教職研究d	2後		2							1		
教職研究e	3後		2							1		
小計(25科目)	-		0	0	50	0	0	0	0	0	13	
合計(319科目)	-		20	558	50	7	3	0	0	1	0	

卒業要件及び履修方法

①共通教育科目：必修科目8単位、選択必修科目8単位以上(「人間を究める」「社会を捉える」「自然と環境を探る」の分野から各2単位以上、「情報リテラシー教育科目」から2単位以上)、合計28単位  
 ②専門教育科目：必修科目12単位、選択必修科目30単位以上、合計82単位  
 ③その他：①、②の要件の他、共通教育科目、専門教育科目の選択科目から合計20単位以上

①、②、③の要件を満たし、合計130単位以上  
 (履修登録単位数の制限：各学期(セメスター)22単位)

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。  
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)数」は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)数」は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を**赤字**としてください。  
(専任教員から基幹教員に変更したことをもって赤字とする必要はありません。)
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。  
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。  
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。  
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・令和7年度より改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）を適用。
- ・主要授業科目の設定の見直しにより、主要授業科目に「テキスタイル材料学」「ファッションビジネス論」「情報デザイン論」「住環境デザイン論」「総合設計演習」を追加設定し、「アパレル製作実習」「ファッションドローイング」「プロダクトデザイン概論」「プロダクトデザイン演習b」「設計製図基礎」を設定から外す。
- ・共通教育科目の科目区分配置の見直しにより、「海外短期インターンシップ」の科目区分を「実践アドバンスト科目／外国語教育科目」から「実践アドバンスト科目／キャリア教育科目」に変更。
- ・共通教育科目の科目区分配置の見直しにより、「海外長期インターンシップ」の科目区分を「実践アドバンスト科目／外国語教育科目」から「実践アドバンスト科目／キャリア教育科目」に変更。
- ・教育課程の充実のため、共通教育科目に「Study Abroad a」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程の充実のため、共通教育科目に「Study Abroad b」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程の充実のため、共通教育科目に「Study Abroad c」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程の充実のため、共通教育科目に「Study Abroad d」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程の充実のため、共通教育科目に「グローバルインターンシップa」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程の充実のため、共通教育科目に「グローバルインターンシップb」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・時間割調整のため、共通教育科目の「短期インターンシップ」「長期インターンシップ」の配当年次を「3休」から「3後」に変更。
- ・時間割調整のため、共通教育科目の「実践プロジェクトb」の配当年次を「2前」から「2前・後」に変更。
- ・時間割調整のため、共通教育科目の「実践プロジェクトc」の配当年次を「2前」から「2前・後」に変更。
- ・時間割調整のため、共通教育科目の「身体の科学」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
- ・授業運営上の都合のため、共通教育科目の「実践入門セミナー」の教員等の配置を「専任教員 教授4」から「基幹教員 教授1、准教授2、助教1」に変更。
- ・授業運営上の都合のため、共通教育科目の「Integrated English a」の教員等の配置を「兼任・兼任2」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・授業運営上の都合のため、共通教育科目の「情報リテラシー基礎」の教員等の配置を「兼任・兼任3」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・授業運営上の都合のため、共通教育科目の「Global Studies e」の教員等の配置を「兼任・兼任2」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・授業運営上の都合のため、共通教育科目の「女性教育とジェンダー」の教員等の配置を「兼任・兼任2」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・授業運営上の都合のため、共通教育科目の「国際経済の基礎」の教員等の配置を「兼任・兼任2」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・授業運営上の都合のため、共通教育科目の「くらしの化学」の教員等の配置を「兼任・兼任2」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・授業運営上の都合のため、共通教育科目の「生活環境の科学」の教員等の配置を「専任教員 教授7、准教授3」「兼任・兼任2」から「基幹教員 教授6、准教授3、助教1」「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・授業運営上の都合のため、共通教育科目の「健康運動実習 a」の教員等の配置を「兼任・兼任4」から「基幹教員以外の教員5」に変更。
- ・授業運営上の都合のため、共通教育科目の「オープン講座 a」の教員等の配置を「兼任・兼任2」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・授業運営上の都合のため、専門教育科目の「環境デザイン学入門」の教員等の配置を「専任教員 教授7」から「基幹教員 教授5」に変更。
- ・授業運営上の都合のため、専門教育科目の「デザイン基礎演習b」の教員等の配置を「専任教員 教授1」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・授業運営上の都合のため、専門教育科目の「色彩学」の教員等の配置を「専任教員 教授1」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・授業運営上の都合のため、専門教育科目の「基礎造形論」の教員等の配置を「専任教員 教授1」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・授業運営上の都合のため、専門教育科目の「設計製図基礎」の教員等の配置を「専任教員 教授1」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・授業運営上の都合のため、専門教育科目の「生活環境工学」の教員等の配置を「専任教員 教授1」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・授業運営上の都合のため、専門教育科目の「衣科学」の教員等の配置を「兼任・兼任1」から「基幹教員 助教1」に変更。
- ・授業運営上の都合のため、専門教育科目の「衣科学演習」の教員等の配置を「兼任・兼任1」から「基幹教員 助教1」に変更。
- ・教育課程の充実のため、共通教育科目の「QEFR B1」の教員等の配置を「兼任・兼任1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・教育課程の充実のため、共通教育科目の「実践教養講座 i」の教員等の配置を「兼任・兼任9」から「基幹教員以外の教員14」に変更。

(注) 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、

主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。

変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
- ・不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
- ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
10 科目	278 科目	25 科目	313 科目	10 科目 [ 0 ]	284 科目 [ 6 ]	25 科目 [ 0 ]	319 科目 [ 6 ]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	環境デザイン特講 b	2	1	専門	選択	授業担当教員がサバティカルのため今年度は未開講とした。代替措置無
2						
3						

- (注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」            授業担当教員が1年間のサバティカルのため未開講とした。来年度以降は、学生に不利益が生じないように配慮し、開講する予定である。</p> <p>「学生への周知方法」            授業時間割表の休講科目一覧に掲載している。</p>
---

- (注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{313} = \boxed{0.31} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	70,401 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	70,401 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	550 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	550 m <sup>2</sup>				
	合 計	70,951 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	70,951 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	56,251 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	56,251 m <sup>2</sup>				
	( 56,251 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 56,251 m <sup>2</sup> )					
(3) 教室・教員研究室	教 室		198 室 <del>188 室</del>	教員研究室	158 室 <del>156 室</del>	大学全体 教室数(7)、教員研究室数(7)			
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		機械・器具 点	標本 点	図書、学術雑誌は学部単位での特定不能なため、大学全体の数  図書、電子図書、学術雑誌、電子ジャーナル実績(7)	
		冊	電子図書 〔うち外国書〕	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	環境デザイン学部 環境デザイン学科	700,000 [100,000] <del>(672,341 [98,765])</del> <del>(677,861 [98,942])</del>	4,000 [10] <del>(3,211 [1])</del> <del>(2,013 [1])</del>	69,600 [61,150] <del>(70,935 [62,488])</del> <del>(87,226 [78,773])</del>	60,000 [60,000] <del>(61,306 [61,302])</del> <del>(77,588 [77,584])</del>	100 (89)	1 (1)		
	計	700,000 [100,000] <del>(672,341 [98,765])</del> <del>(677,861 [98,942])</del>	4,000 [10] <del>(3,211 [1])</del> <del>(2,013 [1])</del>	69,600 [61,150] <del>(70,935 [62,488])</del> <del>(87,226 [78,773])</del>	60,000 [60,000] <del>(61,306 [61,302])</del> <del>(77,588 [77,584])</del>	100 (89)	1 (1)		
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		大学全体		
	3,315 m <sup>2</sup>		0 m <sup>2</sup>		3,180.17 m <sup>2</sup>				
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	学納金改正(7)
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	0千円	1,156千円	4,327千円	
	共同研究費等	2,000千円	3,000千円	設備購入費	7,000千円	5,000千円	10,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,450千円 <del>1,390千円</del>	1,210千円 <del>1,150千円</del>	1,210千円 <del>1,150千円</del>	1,210千円 <del>1,150千円</del>	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入 等							

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。

(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
- ・なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
- ・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	実践女子大学						収容定員充足率の7割以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	6	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
文学部	4	310	20	1280	-	1.12	-	-	昭和40	-	
国文学科	4	110	9	458	学士(文学)	1.13	-	-	昭和40	東京都渋谷区東1丁目1番49号	
英文学科	4	110	9	458	学士(文学)	1.05	-	-	昭和40	同上	
美学美術史学科	4	90	2	364	学士(文学)	1.18	-	-	昭和60	同上	
生活科学部	4	410	4	1568	-	1.03	-	-	昭和40	-	
食生活科学科	4	185	-	740	-	1.00	-	-	昭和40	東京都日野市大坂上4丁目1番地の1	
管理栄養士専攻	4	70	-	280	学士(生活科学)	1.08	-	-	昭和41	同上	
食物科学専攻	4	75	-	300	学士(生活科学)	0.95	-	-	昭和41	同上	
健康栄養専攻	4	40	-	160	学士(生活科学)	0.96	-	-	平成25	同上	
生活環境学科	4	-	-	-	学士(生活科学)	-	-	-	昭和40	同上	令和7年度から学生募集停止(△80)
生活文化学科	4	85	2	344	-	1.02	-	-	平成7	同上	
生活心理専攻	4	40	2	164	学士(生活科学)	1.07	-	-	平成19	同上	
幼児保育専攻	4	45	-	180	学士(生活科学)	0.97	-	-	平成19	同上	
現代生活学科	4	60	-	240	学士(生活科学)	1.09	-	-	平成26	同上	
人間社会学部	4	260	-	920	-	1.19	-	-	平成16	-	
人間社会学科	4	100	-	400	学士(人間社会学)	1.21	-	-	平成16	東京都渋谷区東1丁目1番49号	
ビジネス社会学科	4	80	-	360	学士(人間社会学)	1.16	-	-	平成23	同上	令和6年度から入学定員変更(100→80)及び名称変更
社会デザイン学科	4	80	-	160	学士(人間社会学)	1.24	-	-	令和6	同上	
国際学部	4	120	-	240	-	1.21	-	-	令和6	-	
国際学科	4	120	-	240	学士(国際学)	1.21	-	-	令和6	東京都渋谷区東1丁目1番49号	
環境デザイン学部	4	81	-	81	-	1.39	-	-	令和6	-	
環境デザイン学科	4	81	-	81	学士(環境デザイン学)	1.39	-	-	令和6	東京都日野市大坂上4丁目1番地の1	
大学全体	4	1101	3年次24	4089	-	-	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。  
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。  
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。  
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。  
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。  
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<環境デザイン学部 環境デザイン学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
基 (主 専)	教授	担当授業科目名 安齋 利典 <令和7年4月> 博士(工学)	教授	担当授業科目名 安齋 利典 <令和7年4月> 博士(工学)
		実践入門セミナー 生活環境の科学※ 環境デザイン学入門※ 環境デザイン学演習 環境デザイン学セミナー 卒業研究 デザイン基礎演習a プロダクトデザイン概論 基礎造形論 プロダクトデザイン論 プロダクトデザイン演習a プロダクトデザイン演習b デザインマネジメントa デザインマネジメントb ビジュアルデザインa 総合設計演習 環境デザイン特論a		生活環境の科学※ 環境デザイン学入門※ 環境デザイン学演習 環境デザイン学セミナー 卒業研究 デザイン基礎演習a プロダクトデザイン概論 プロダクトデザイン論 プロダクトデザイン演習a プロダクトデザイン演習b デザインマネジメントa デザインマネジメントb ビジュアルデザインa 総合設計演習 環境デザイン特論a
		大川 知子 <令和7年4月> 博士(経営学)		大川 知子 <令和7年4月> 博士(経営学)
基 (主 専)	教授	実践入門セミナー 衣文化論 生活環境の科学※ 環境デザイン学入門※ 環境デザイン学演習 環境デザイン学セミナー 卒業研究 ファッションビジネスの世界 ファッションビジネス論 ファッションビジネス演習 アパレル生産 マーケティング論 消費科学 環境デザインプロジェクトb	教授	衣文化論 生活環境の科学※ 環境デザイン学入門※ 環境デザイン学演習 環境デザイン学セミナー 卒業研究 ファッションビジネスの世界 ファッションビジネス論 ファッションビジネス演習 アパレル生産 マーケティング論 消費科学 環境デザインプロジェクトb
		佐藤 健 <令和7年4月> 博士(工学)		佐藤 健 <令和7年4月> 博士(工学)
基 (主 専)	教授	くらしの人間工学 生活環境の科学※ 身体運動の科学a 身体運動の科学b スポーツ応用科学実習 実践教養講座c※ 環境デザイン学入門※ 環境デザイン学演習 環境デザイン学セミナー 卒業研究 基礎演習b 人体生理学 人体生理学実験【隔年】 人間工学 人間工学実験【隔年】 ユニバーサルデザイン論 情報デザイン論 感性科学	教授	実践入門セミナー くらしの人間工学 生活環境の科学※ 身体運動の科学a 身体運動の科学b スポーツ応用科学実習 実践教養講座c※ 環境デザイン学入門※ 環境デザイン学演習 環境デザイン学セミナー 卒業研究 基礎演習b 人体生理学 人体生理学実験【隔年】 人間工学 人間工学実験【隔年】 ユニバーサルデザイン論 情報デザイン論 感性科学
		塩原 みゆき <令和7年4月> 博士(学術)		塩原 みゆき <令和7年4月> 博士(学術)
基 (主 専)	教授	実践入門セミナー 生活環境の科学※ 環境デザイン学入門※ 環境デザイン学演習 環境デザイン学セミナー 卒業研究 基礎演習c テキスタイル管理学 テキスタイル管理実験 染色加工学 生活環境科学 衣料管理実習 消費生活学 環境デザインプロジェクトa	教授	生活環境の科学※ 環境デザイン学入門※ 環境デザイン学演習 環境デザイン学セミナー 卒業研究 基礎演習c テキスタイル管理学 テキスタイル管理実験 染色加工学 生活環境科学 衣料管理実習 消費生活学 環境デザインプロジェクトa
		塩原 みゆき <令和7年4月> 博士(学術)		塩原 みゆき <令和7年4月> 博士(学術)

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	橋 弘志 <令和7年4月> 博士(工学)
		生活環境の科学※ 実践教養講座g 環境デザイン学入門※ 環境デザイン学演習 環境デザイン学セミナー 卒業研究 住居学 住居デザイン論 福祉住環境論 生活空間計画 設計製図基礎 生活空間設計製図2 建築構造 建築法規 環境デザイン特論a
基 (主 専)	教授	内藤 将俊 <令和7年4月> 修士(工学)
		実践入門セミナー 生活環境の科学※ 環境デザイン学入門※ 環境デザイン学演習 環境デザイン学セミナー 卒業研究 デザイン基礎演習b 住環境デザイン論 建築デザイン論 生活空間設計製図1 建築・インテリア構法 構法・構造演習 総合設計演習
基 (主 専)	教授	楢 究 <令和7年4月> 博士(工学)
		生活環境の科学※ 実践教養講座b 環境デザイン学入門※ 環境デザイン学演習 環境デザイン学セミナー 卒業研究 色彩学 色彩設計演習a 色彩設計演習b 環境心理学 マーケティングリサーチ 光環境デザイン 建築概論 生活環境工学 環境デザインプロジェクトa 環境デザイン特論b
基 (主 専)	准教授	一色 ヒロタカ(博貴) <令和7年4月> 修士※(工学)
		実践プロジェクトc 生活環境の科学※ 環境デザイン学入門※ 環境デザイン学演習 環境デザイン学セミナー 卒業研究 空間造形基礎 生活空間設計製図3 コミュニティデザイン論a コミュニティデザイン論b 環境デザインプロジェクトb ワークショップ演習 コミュニティデザイン演習

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	橋 弘志 <令和7年4月> 博士(工学)
		生活環境の科学※ 実践教養講座g 環境デザイン学演習 環境デザイン学セミナー 卒業研究 住居学 住居デザイン論 福祉住環境論 生活空間計画 生活空間設計製図2 建築構造 建築法規
基 (主 専)	教授	内藤 将俊 <令和7年4月> 修士(工学)
		生活環境の科学※ 環境デザイン学入門※ 環境デザイン学演習 環境デザイン学セミナー 卒業研究 住環境デザイン論 建築デザイン論 生活空間設計製図1 建築・インテリア構法 構法・構造演習 総合設計演習
基 (主 専)	教授	楢 究 <令和7年4月> 博士(工学) <b>(サバティカルR7.4.1~ R8.3.31)</b>
		環境デザイン学演習 環境デザイン学セミナー 卒業研究 色彩設計演習a 色彩設計演習b 環境心理学 マーケティングリサーチ 光環境デザイン 建築概論 環境デザインプロジェクトa
基 (主 専)	准教授	一色 ヒロタカ(博貴) <令和7年4月> 修士※(工学)
		<b>実践入門セミナー</b> 実践プロジェクトc 生活環境の科学※ 環境デザイン学入門※ 環境デザイン学演習 環境デザイン学セミナー 卒業研究 空間造形基礎 生活空間設計製図3 コミュニティデザイン論a コミュニティデザイン論b 環境デザインプロジェクトb ワークショップ演習 コミュニティデザイン演習

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	准教授	加藤木 秀章 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		くらしの化学※ 生活環境の科学※ 実践教養講座c※ 環境デザイン学入門※ 環境デザイン学演習 環境デザイン学セミナー 卒業研究 基礎演習a 統計の基礎 マテリアル・デザイン 繊維高分子材料学 繊維高分子材料実験 テキスタイル材料学 テキスタイル材料実験 機能材料学
基(主専)	准教授	滝澤 愛 ＜令和7年4月＞ 学士(家政)
		生活環境の科学※ 環境デザイン学入門※ 環境デザイン学演習 環境デザイン学セミナー 卒業研究 アパレル製作基礎演習 アパレル製作基礎 アパレル製作実習 ファッションデザイン論 ファッションドローイング ファッションデザイン演習2
その他	教授	粟津 俊二 ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		短期インターンシップ 長期インターンシップ 海外短期インターンシップ 海外長期インターンシップ ボランティアプロジェクトa ボランティアプロジェクトb
その他	教授	井口 真美 ＜令和9年4月＞ 教育学修士
		保育学
その他	教授	池田(飯泉)三枝子 ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		実践教養講座 b
その他	教授	市毛 祐子 ＜令和8年4月＞ 家政学修士
		家庭科教育法(1) 家庭科教育法(2) 家庭科教育法(3) 教育実習A 教育実習B 教職実践演習(中・高) 教職研究 d
その他	教授	福垣 伸一 ＜令和7年9月＞ 文学修士
		実践教養講座 h ※
その他	教授	上野(今野)英子 ＜令和7年9月＞ 博士(文学)
		日本の古典文学

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	准教授	加藤木 秀章 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		くらしの化学※ 生活環境の科学※ 実践教養講座c※ 環境デザイン学入門※ 環境デザイン学演習 環境デザイン学セミナー 卒業研究 基礎演習a 統計の基礎 マテリアル・デザイン 繊維高分子材料学 繊維高分子材料実験 テキスタイル材料学 テキスタイル材料実験 機能材料学
基(主専)	准教授	滝澤 愛 ＜令和7年4月＞ 学士(家政)
		<b>実践入門セミナー</b> 生活環境の科学※ 環境デザイン学入門※ 環境デザイン学演習 環境デザイン学セミナー 卒業研究 アパレル製作基礎演習 アパレル製作基礎 アパレル製作実習 ファッションデザイン論 ファッションドローイング ファッションデザイン演習2
その他	教授	粟津 俊二 ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		短期インターンシップ 長期インターンシップ ボランティアプロジェクトa ボランティアプロジェクトb
その他	教授	井口 真美 ＜令和9年4月＞ 教育学修士
		保育学
その他	教授	池田(飯泉)三枝子 ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		実践教養講座 b
その他	教授	市毛 祐子 ＜令和8年4月＞ 家政学修士
		家庭科教育法(1) 家庭科教育法(2) 家庭科教育法(3) 教育実習A 教育実習B 教職実践演習(中・高) 教職研究 d
その他	教授	福垣 伸一 ＜令和7年9月＞ 文学修士
その他	教授	上野(今野)英子 ＜令和7年9月＞ 博士(文学)
		日本の古典文学

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	於保 祐子 ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		Global Studies d※ 身体の科学 実践教養講座 i ※ 栄養学 育児学
その他	教授	柏崎 秀子 ＜令和8年4月＞ 文学修士※
		発達・学習理論 特別支援教育論 介護支援基礎論 介護等体験 教職研究 b
その他	教授	角本 伸晃 ＜令和7年9月＞ 経済学博士
		数学的思考※
その他	教授	齋藤 洋 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		データサイエンス入門 情報リテラシー基礎 情報リテラシー応用 c 実践教養講座 e
その他	教授	佐々木 溪円 ＜令和7年9月＞ 博士(生物環境調整学)
		実践教養講座 c ※ 実践教養講座 i ※
その他	教授	佐々木 真理 ＜令和7年9月＞ 文学修士
		実践教養講座 h ※
その他	教授	佐藤 幸子 ＜令和7年9月＞ 博士(食物栄養学)
		実践教養講座 i ※ 食物学
その他	教授	権原 伸博 ＜令和7年9月＞ 芸術学修士
		実践プロジェクト c 実践教養講座 h ※
その他	教授	塩川 宏郷 ＜令和7年9月＞ 博士(医学)
		実践教養講座 c ※

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	於保 祐子 ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		Global Studies d※ 身体の科学 実践教養講座 i ※ 栄養学 育児学
その他	教授	寛 慎治 ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		Global Studies d※ 実践教養講座 i ※
その他	教授	柏崎 秀子 ＜令和8年4月＞ 文学修士※
		発達・学習理論 特別支援教育論 介護支援基礎論 介護等体験 教職研究 b
その他	教授	角本 伸晃 ＜令和7年9月＞ 経済学博士
		数学的思考※
その他	教授	齋藤 洋 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		データサイエンス入門 情報リテラシー基礎 情報リテラシー応用 c 実践教養講座 e
その他	教授	佐々木 溪円 ＜令和7年9月＞ 博士(生物環境調整学)
		実践教養講座 c ※ 実践教養講座 i ※
その他	教授	佐藤 幸子 ＜令和7年9月＞ 博士(食物栄養学)
		実践教養講座 i ※ 食物学
その他	教授	権原 伸博 ＜令和7年9月＞ 芸術学修士
		実践プロジェクト c 実践教養講座 h ※
その他	講師	塩川 宏郷 ＜令和7年9月＞ 博士(医学)
		実践教養講座 c ※

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	島崎 あかね ＜令和7年4月＞ 博士(環境共生学)
		身体運動の科学 a 身体運動の科学 b 基礎スポーツ実習 a 基礎スポーツ実習 b 健康体力科学演習 アダプテッドスポーツ
その他	教授	下山 肇 ＜令和8年4月＞ 学士(造形)
		実践プロジェクト b
その他	教授	Schmicmel, Jacob ＜令和7年4月＞ Master of Arts (米国)
		Integrated English a Global Studies b
その他	教授	白尾 美佳 ＜令和7年9月＞ 医学博士
		実践教養講座 c ※ 実践教養講座 i ※
その他	教授	杉山 靖正 ＜令和7年4月＞ 博士(農業)
		くらしの化学 ※ 実践教養講座 i ※
その他	教授	清田 夏代 ＜令和7年4月＞ 博士(教育学)
		Global Studies e 女性教育とジェンダー ※ 教育制度 教職研究 c
その他	教授	高橋 桂子 ＜令和7年4月＞ 博士(社会科学)
		ライフデザイン 金融リテラシー入門 数学的思考 ※ 家庭経営学 生活経済学
その他	教授	高橋 裕樹 ＜令和7年4月＞ 修士(経営学)
		実践キャリアプランニング キャリアデザイン グローバル・キャリアデザイン 実践プロジェクト a
その他	教授	竹内 光悦 ＜令和7年4月＞ 博士(理学)
		統計的思考

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	島崎 あかね ＜令和7年4月＞ 博士(環境共生学)
		身体運動の科学 a 身体運動の科学 b 基礎スポーツ実習 a 基礎スポーツ実習 b 健康体力科学演習 アダプテッドスポーツ
その他	教授	下山 肇 ＜令和8年4月＞ 学士(造形)
		実践プロジェクト b
その他	教授	Schmicmel, Jacob ＜令和7年4月＞ Master of Arts (米国)
		Integrated English a Global Studies b
その他	教授	白尾 美佳 ＜令和7年9月＞ 医学博士
		実践教養講座 c ※ 実践教養講座 i ※
その他	教授	杉山 靖正 ＜令和7年4月＞ 博士(農学)
		くらしの化学 ※ 実践教養講座 i ※
その他	教授	清田 夏代 ＜令和7年4月＞ 博士(教育学) <b>(サバティカルR7.4.1~ R8.3.31)</b>
		教育制度 教職研究 c
その他	教授	高橋 桂子 ＜令和7年4月＞ 博士(社会科学)
		ライフデザイン 金融リテラシー入門 数学的思考 ※ 家庭経営学 生活経済学
その他	教授	高橋 裕樹 ＜令和7年4月＞ 修士(経営学)
		実践キャリアプランニング キャリアデザイン グローバル・キャリアデザイン 実践プロジェクト a
その他	教授	竹内 光悦 ＜令和7年4月＞ 博士(理学)
		統計的思考

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	武内 一良 ＜令和7年4月＞ 博士(観光学)
		実践教養講座 d ※
その他	教授	中村 彰男 ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		くらしの化学※ 実践教養講座 i ※
その他	教授	中山 誠一 ＜令和7年4月＞ 博士(教育学)
		Integrated English a Global Studies a 海外語学研修 a 海外語学研修 b 海外語学研修 c 海外語学研修 d 海外語学研修 e 海外語学研修 f 海外語学研修 g 海外語学研修 h
その他	教授	奈良 一寛 ＜令和7年9月＞ 博士(農学)
		実践教養講座 i ※
その他	教授	難波 雅紀 ＜令和7年4月＞ 文学修士
		実践教養講座 d ※
その他	教授	新村 紀昭 ＜令和8年4月＞ 文学士
		教職研究 a 教職研究 e
その他	教授	広井(廣川) 多鶴子 ＜令和7年4月＞ 教育学修士
		実践教養講座 d ※

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	武内 一良 ＜令和7年4月＞ 博士(観光学)
		実践教養講座 d ※
その他	教授	中村 彰男 ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		くらしの化学※ 実践教養講座 i ※
その他	教授	中山 誠一 ＜令和7年4月＞ 博士(教育学)
		Integrated English a Global Studies a 海外語学研修 a 海外語学研修 b 海外語学研修 c 海外語学研修 d 海外語学研修 e 海外語学研修 f 海外語学研修 g 海外語学研修 h 海外短期インターンシップ 海外長期インターンシップ Study Abroad a Study Abroad b Study Abroad c Study Abroad d グローバルインターンシップ a グローバルインターンシップ b
その他	教授	奈良 一寛 ＜令和7年9月＞ 博士(農学)
		実践教養講座 i ※
その他	教授	難波 雅紀 ＜令和7年4月＞ 文学修士
		実践教養講座 d ※
その他	教授	新村 紀昭 ＜令和8年4月＞ 文学士
		教職研究 a 教職研究 e
その他	教授	長谷川 めぐみ ＜令和7年9月＞ 博士(栄養学)
		実践教養講座 i ※
その他	教授	広井(廣川) 多鶴子 ＜令和7年4月＞ 教育学修士
		実践教養講座 d ※

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	深澤 晶久 ＜令和7年4月＞ 法学士
		キャリアデザイン グローバル・キャリアデザイン キャリア開発実践論 国際理解とキャリア形成 女性とキャリア形成 キャリア・ショーケース 実践プロジェクトa 実践プロジェクトc
その他	教授	Bulach, Juergen ＜令和7年4月＞ 教育学修士
		ドイツ語1a ドイツ語1b ドイツ語2a ドイツ語2b
その他	教授	Bruna, Lukas ＜令和7年9月＞ 博士(文学)
		実践教養講座h※
その他	教授	山崎 壮 ＜令和7年9月＞ 薬学博士
		Global Studies d※ くらしの化学※ 実践教養講座i※
その他	准教授	Michael Anthony Edwards ＜令和7年4月＞ MA in TESOL (米国)
		Global Studies c Global Studies d
その他	准教授	大澤(三宅) 朋子 ＜令和7年9月＞ 博士(社会福祉学)
		実践教養講座c※
その他	准教授	織田 涼子 ＜令和7年4月＞ 博士(美術)
		実践教養講座b※
その他	准教授	倉持 一 ＜令和7年9月＞ 博士(経営学)
		実践教養講座c※

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	深澤 晶久 ＜令和7年4月＞ 法学士
		キャリアデザイン グローバル・キャリアデザイン キャリア開発実践論 国際理解とキャリア形成 女性とキャリア形成 キャリア・ショーケース 実践プロジェクトa 実践プロジェクトc <b>オープン講座a※</b>
その他	教授	Bulach, Juergen ＜令和7年4月＞ 教育学修士
		<b>Integrated English a</b> ドイツ語1a ドイツ語1b ドイツ語2a ドイツ語2b
その他	教授	Bruna, Lukas ＜令和7年9月＞ 博士(文学)
		実践教養講座h※
その他	教授	<b>松岡 康浩</b> ＜令和7年9月＞ 博士(農学)
		<b>実践教養講座i※</b>
その他	准教授	Michael Anthony Edwards ＜令和7年4月＞ MA in TESOL (米国)
		Global Studies c Global Studies d
その他	准教授	大澤(三宅) 朋子 ＜令和7年9月＞ 博士(社会福祉学)
		実践教養講座c※
その他	准教授	織田 涼子 ＜令和7年4月＞ 博士(美術)
		実践教養講座b※
その他	准教授	倉持 一 ＜令和7年9月＞ 博士(経営学)
		実践教養講座c※
その他	准教授	<b>Svetlana KORNEEVA</b> ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		<b>実践教養講座h※</b>

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	筒井 晴香 <令和7年9月> 博士(学術)
		情報スキル基礎
その他	准教授	奈良 典子 <令和7年9月> 修士(教育学)
		実践教養講座 i ※
その他	准教授	橋詰 秋子 <令和7年4月> 博士(図書館・情報学)
		オープン講座 a ※
その他	准教授	渡辺 敏 <令和7年9月> 修士(教育学)
		数学的思考
その他	講師	笠原 良太 <令和8年4月> 博士(文学)
		家族関係学
その他	講師	鹿島(鈴木)千穂 <令和7年4月> 修士(学術)
		メディア論 オープン講座 a ※ クォーターオープン講座 c
その他	講師	金津 謙 <令和7年4月> 修士(法学)
		日本国憲法

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	筒井 晴香 <令和7年9月> 博士(学術)
		情報スキル基礎
その他	准教授	奈良 典子 <令和7年9月> <b>博士(医学)</b>
		実践教養講座 i ※
その他	准教授	橋詰 秋子 <令和7年4月> 博士(図書館・情報学)
		オープン講座 a ※
その他	教授	渡辺 敏 <令和7年9月> 修士(教育学)
		数学的思考
その他	准教授	<b>大道 公秀</b> <令和7年9月> <b>博士(医学)</b>
		実践教養講座 i ※
その他	准教授	<b>諏訪 友亮</b> <令和7年4月> 修士(文学) ※ Master of Arts (マスタ ーオブアーツ)
		実践教養講座 h ※
その他	准教授	<b>中野 美樹</b> <令和7年9月> <b>博士(栄養学)</b>
		実践教養講座 i ※
その他	准教授	<b>森川 希</b> <令和7年9月> <b>博士(医学)</b>
		実践教養講座 i ※
その他	講師	笠原 良太 <令和8年4月> 博士(文学)
		家族関係学
その他	講師	鹿島(鈴木)千穂 <令和7年4月> 修士(学術)
		メディア論 オープン講座 a ※ クォーターオープン講座 c
その他	講師	金津 謙 <令和7年4月> 修士(法学)
		日本国憲法

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	河井 延晃 <令和7年9月> 修士(学際情報学)
		メディア論
その他	講師	久保(福家) 貴子 <令和7年4月> 文学修士
		女性教育とジェンダー※ 実践教養講座 d
その他	講師	神山 静香 <令和7年9月> 博士(法学)
		実践教養講座 h ※
その他	講師	田中 瑛 <令和7年9月> 博士(社会情報学)
		情報スキル基礎
その他	講師	Valise, Kinsella <令和7年4月> 修士(応用言語学)
		Effective Speaking Active Reading Active Listening Global Studies g
その他	講師	柳田 亮吾 <令和7年4月> 博士(言語文化学)
		実践教養講座 d ※
その他	助教	小川 ゆか <令和7年4月> 博士(被服環境学)
		生活環境の科学※ 衣料学 衣料学演習
その他	講師	相川(新田) 愛美 <令和7年4月> Ph. D. (History) (インド)
		地域研究 b
その他	講師	合原 勝之 <令和7年4月> 芸術学士
		生活とデザイン

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	河井 延晃 <令和7年9月> 修士(学際情報学)
		メディア論
その他	准教授	久保(福家) 貴子 <令和7年4月> 文学修士
		女性教育とジェンダー 実践教養講座 d ※
その他	講師	神山 静香 <令和7年9月> 博士(法学)
		実践教養講座 h ※
その他	講師	齋藤 達也 <令和7年4月> 修士(学術) Master, Mention Archéologie et Histoire de l' art (フランス)
		実践プロジェクト 実践教養講座 h ※
その他	講師	田中 瑛 <令和7年9月> 博士(社会情報学)
		情報スキル基礎
その他	講師	Valise, Kinsella <令和7年4月> 修士(応用言語学)
		Integrated English a Effective Speaking Active Reading Active Listening Global Studies g
その他	講師	柳田 亮吾 <令和7年4月> 博士(言語文化学)
		実践教養講座 d ※
その他	助教	小川 ゆか <令和7年4月> 博士(被服環境学)
		実践入門セミナー 生活環境の科学※ 衣料学 衣料学演習
その他	講師	相川(新田) 愛美 <令和7年4月> Ph. D. (History) (インド)
		地域研究 b
その他	講師	合原 勝之 <令和7年4月> 芸術学士
		生活とデザイン

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	青木 淳子 ＜令和7年9月＞ 博士（学際情報学）
		衣文化論
その他	講師	秋山（小宮）千恵 ＜令和7年4月＞ 修士（史学）
		西洋史
その他	講師	浅原 房夫 ＜令和7年4月＞ 修士（哲学）
		情報リテラシー基礎
その他	講師	阿部 貴美子 ＜令和7年4月＞ Doctor of Philosophy（英国）
		女性の健康
その他	講師	阿部 哲理 ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		心の健康
その他	講師	阿部 睦子 ＜令和9年9月＞ 教育学修士
		家庭科教育法（4）
その他	講師	荒尾（岩熊）美代 ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		食文化論
その他	講師	有賀（岸）暁子 ＜令和7年4月＞ 学士（国文学）
		健康運動実習 a
その他	講師	飯泉（徳永）恵美子 ＜令和7年4月＞ 法学士
		Global Studies i Global Studies j
その他	講師	飯野 智子 ＜令和7年4月＞ 修士（社会学）
		ジェンダー論入門 女性の歴史 日本のポップカルチャー

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	青木 淳子 ＜令和7年9月＞ 博士（学際情報学）
		衣文化論
その他	講師	秋山（小宮）千恵 ＜令和7年4月＞ 修士（史学）
		西洋史
その他	講師	浅原 房夫 ＜令和7年4月＞ 修士（哲学）
		情報リテラシー基礎
その他	講師	芦名 悦生 ＜令和7年4月＞ 修士（体育科学）※
		基礎スポーツ実習 a
その他	講師	阿部 貴美子 ＜令和7年4月＞ Doctor of Philosophy（英国）
		女性の健康
その他	講師	阿部 哲理 ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		心の健康
その他	講師	阿部 睦子 ＜令和9年9月＞ 教育学修士
		家庭科教育法（4）
その他	講師	荒尾（岩熊）美代 ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		食文化論
その他	講師	有賀（岸）暁子 ＜令和7年4月＞ 学士（文学）
		健康運動実習 a
その他	講師	飯泉（徳永）恵美子 ＜令和7年4月＞ 法学士
		Global Studies i Global Studies j
その他	講師	飯野 智子 ＜令和7年4月＞ 修士（社会学）
		ジェンダー論入門 女性の歴史 日本のポップカルチャー

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	飯盛 元章 <令和7年9月> 博士(哲学)
		現代の思想
その他	講師	池田 徳正 <令和7年9月> 修士(学術情報学)
		情報リテラシー応用 c
その他	講師	石川 遥至 <令和9年9月> 博士(文学)
		教育相談
その他	講師	Istek Cihangir <令和7年4月> 博士(工学)
		社会とデザイン
その他	講師	泉 敏郎 <令和7年4月> 修士(体育科学)
		基礎スポーツ実習 a
その他	講師	磯崎 明美 <令和8年4月> 家政学修士
		ファッションデザイン演習1 被服実習b
その他	講師	市川(花田) 薫 <令和7年4月> 博士(農学)
		生活環境の科学
その他	講師	市毛 洋子 <令和7年4月> Master's degree in TESOL(米国)
		Integrated English b Active Reading Active Listening CEFR B1
その他	講師	伊藤 綾香 <令和7年4月> 博士(政策・メディア)
		情報リテラシー応用 a
その他	講師	猪瀬 武則 <令和7年4月> 博士(教育学)
		日本の経済

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	飯盛 元章 <令和7年9月> 博士(哲学)
		現代の思想
その他	講師	池田 昭光 <令和7年4月> 博士(社会人類学)
		地域研究 a
その他	講師	池田 徳正 <令和7年9月> 修士(学術情報学)
		情報リテラシー応用 c
その他	講師	石川 遥至 <令和9年9月> 博士(文学)
		教育相談
その他	講師	Istek Cihangir <令和7年4月> 博士(工学)
		社会とデザイン
その他	講師	磯崎 明美 <令和8年4月> 家政学修士
		ファッションデザイン演習1 被服実習b
その他	講師	市川(花田) 薫 <令和7年4月> 博士(農学)
		生活環境の科学
その他	講師	市毛 洋子 <令和7年4月> Master's degree in TESOL(米国)
		Integrated English b Active Reading Active Listening CEFR B1
その他	講師	伊藤 綾香 <令和7年4月> 博士(政策・メディア)
		情報リテラシー応用 a

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	今井 康晴 <令和7年4月> 修士※(教育学)
		教育学
その他	講師	石上 美紀 <令和7年4月> 家政学修士
		ファッションの世界 ファッション文化論
その他	講師	上西 朋子 <令和7年4月> 修士(生活科学)
		情報スキル基礎
その他	講師	氏家 祥美 <令和9年9月> 修士(社会科学)
		ライフデザイン
その他	講師	氏川 雅典 <令和7年4月> 修士※(社会学)
		社会学入門
その他	講師	江尻 靖 <令和8年9月> 学士(文学)
		立体裁断 アパレルCAD a アパレルCAD b
その他	講師	越後 敬子 <令和7年4月> 修士(文学)
		日本の古典文学
その他	講師	江藤 双恵 <令和7年4月> 修士※(国際学)
		国際社会とジェンダー 地域研究 a
その他	講師	大倉 恭輔 <令和7年4月> 文学修士
		サブカルチャー論

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	今井 康晴 <令和7年4月> 修士※(教育学)
		教育学
その他	講師	石上 美紀 <令和7年4月> 家政学修士
		ファッションの世界 ファッション文化論
その他	講師	上西 朋子 <令和7年4月> 修士(生活科学)
		情報スキル基礎
その他	講師	上向 のり子 <令和7年9月> 修士(体育学)
		健康運動実習 a
その他	講師	氏家 祥美 <令和9年9月> 修士(社会科学)
		ライフデザイン
その他	講師	氏川 雅典 <令和7年4月> 修士※(社会学)
		社会学入門
その他	講師	梅澤 豪太郎 <令和7年4月> 修士(工学)
		デザイン基礎演習 b
その他	講師	江尻 靖 <令和8年9月> 学士(文学)
		立体裁断 アパレルCAD a アパレルCAD b
その他	講師	越後 敬子 <令和7年4月> 修士(文学)
		日本の古典文学
その他	講師	江藤 双恵 <令和7年4月> 修士※(国際学)
		国際社会とジェンダー 地域研究 a

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	大澤 隆文 ＜令和7年4月＞ 博士(農学)
		地球と環境の科学
その他	講師	大庭 諒 ＜令和7年9月＞ 博士(哲学)
		社会思想入門
その他	講師	岡田 斉 ＜令和7年4月＞ 文学修士※
		心理学入門
その他	講師	岡部 英男 ＜令和7年4月＞ 文学修士※
		倫理学入門 生命と環境の倫理
その他	講師	岡村 珠穂 ＜令和8年9月＞ 建築学修士※
		建築施工
その他	講師	小川 敬子 ＜令和8年9月＞ 修士(保健学)
		看護学
その他	講師	小川 貴之 ＜令和9年4月＞ 修士(政策・メディア)
		デザイン史
その他	講師	小栗 宏太 ＜令和7年9月＞ Master of Arts in Political Science(米国)
		文化人類学入門
その他	講師	笠原 邦子 ＜令和7年4月＞ 短期大学卒業
		情報スキル基礎

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	大澤 隆文 ＜令和7年4月＞ 博士(農学)
		地球と環境の科学
その他	講師	大庭 諒 ＜令和7年9月＞ 博士(哲学)
		社会思想入門
その他	講師	岡田 斉 ＜令和7年4月＞ 文学修士※
		心理学入門
その他	講師	岡部 英男 ＜令和7年4月＞ 文学修士※
		倫理学入門 生命と環境の倫理
その他	講師	岡村 珠穂 ＜令和8年9月＞ 建築学修士※
		建築施工
その他	講師	小川 敬子 ＜令和8年9月＞ 修士(保健学)
		看護学
その他	講師	小川 貴之 ＜令和9年4月＞ 修士(政策・メディア)
		デザイン史 <b>設計製図基礎</b>
その他	講師	小栗 宏太 ＜令和7年9月＞ Master of Arts in Political Science(米国)
		文化人類学入門
その他	講師	<b>鏡 征禰(中村 肇)</b> ＜令和7年4月＞ 博士(社会情報学)
		<b>サブカルチャー論</b>
その他	講師	笠原 邦子 ＜令和7年4月＞ 短期大学卒業
		情報スキル基礎

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	Caswell, Ian Michael ＜令和7年4月＞ Master of Arts (英国)
		Integrated English b Effective Writing
その他	講師	蟹江 教子 ＜令和8年9月＞ 博士(社会科学)
		女性とキャリア形成
その他	講師	河田 美保 ＜令和7年4月＞ 修士(体育学)
		健康運動実習 a 基礎スポーツ実習 c ヘルスプロモーション実践実習 a ヘルスプロモーション実践実習 b
その他	講師	神田 恵美子 ＜令和8年9月＞ 博士(教育学)
		教育方法・技術論(ICT活用含む)
その他	講師	木下 頌子 ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		現代の思想
その他	講師	木水(吉澤) 千里 ＜令和7年4月＞ doctorat (フランス)
		映像文化論
その他	講師	楠見 清 ＜令和7年9月＞ 哲学学士
		サブカルチャー論
その他	講師	久保寺 紀江 ＜令和7年4月＞ 博士(美術史学)
		美術の世界
その他	講師	熊谷 滋三 ＜令和7年4月＞ 文学修士※
		東洋史
その他	講師	熊田 勇真 ＜令和7年4月＞ 学士(芸術)
		情報リテラシー応用 b

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	Caswell, Ian Michael ＜令和7年4月＞ Master of Arts (英国)
		Integrated English b Effective Writing
その他	講師	蟹江 教子 ＜令和8年9月＞ 博士(社会科学)
		女性とキャリア形成
その他	講師	河田 美保 ＜令和7年4月＞ 修士(体育学)
		健康運動実習 a 基礎スポーツ実習 c ヘルスプロモーション実践実習 a ヘルスプロモーション実践実習 b
その他	講師	河西 大介 ＜令和7年4月＞ 修士(デザイン)
		色彩学
その他	講師	神田 恵美子 ＜令和8年9月＞ 博士(教育学)
		教育方法・技術論(ICT活用含む)
その他	講師	木下 頌子 ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		現代の思想
その他	講師	木水(吉澤) 千里 ＜令和7年4月＞ doctorat (フランス)
		映像文化論
その他	講師	楠見 清 ＜令和7年9月＞ 学士(哲学)
		サブカルチャー論
その他	講師	久保寺 紀江 ＜令和7年4月＞ 博士(美術史学)
		美術の世界
その他	講師	熊谷 滋三 ＜令和7年4月＞ 文学修士※
		東洋史
その他	講師	熊田 勇真 ＜令和7年4月＞ 学士(芸術)
		情報リテラシー応用 b

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	栗田 智子 ＜令和8年9月＞ M.A. in TESOL (米国)
		実践プロジェクトc
その他	講師	栗原 栄美 ＜令和9年9月＞ 学士(文芸学)
		ビジネスのスキルとマナー
その他	講師	高 恩淑 ＜令和7年4月＞ 博士(言語文化)
		コリア語1a コリア語1b コリア語2a コリア語2b
その他	講師	上妻 歩夢 ＜令和7年4月＞ 修士(体育科学)
		基礎スポーツ実習a
その他	講師	河野 康成 ＜令和7年4月＞ 社会学修士※
		情報リテラシー応用c 統計的思考
その他	講師	小崎 美希 ＜令和9年9月＞ 博士(工学)
		住環境・設備学
その他	講師	小須田 健 ＜令和7年4月＞ 博士(哲学)
		哲学入門
その他	講師	小林 真知子 ＜令和7年4月＞ 学術博士
		西洋の文学
その他	講師	小林 幸子 ＜令和7年4月＞ 博士(芸術学)
		音楽の世界
その他	講師	米田 英嗣 ＜令和7年9月＞ 博士(教育学)
		心理学入門
その他	講師	小山 利一 ＜令和9年9月＞ 教育学士
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	栗田 智子 ＜令和8年9月＞ M.A. in TESOL (米国)
		実践プロジェクトc
その他	講師	栗原 栄美 ＜令和9年9月＞ 学士(文芸学)
		ビジネスのスキルとマナー
その他	講師	高 恩淑 ＜令和7年4月＞ 博士(言語文化)
		コリア語1a コリア語1b コリア語2a コリア語2b
その他	講師	上妻 歩夢 ＜令和7年4月＞ 修士(体育科学)
		基礎スポーツ実習a
その他	講師	河野 康成 ＜令和7年4月＞ 社会学修士※
		情報リテラシー応用c 統計的思考
その他	講師	小崎 美希 ＜令和9年9月＞ 博士(工学)
		住環境・設備学
その他	講師	小須田 健 ＜令和7年4月＞ 博士(哲学)
		哲学入門
その他	講師	小林 真知子 ＜令和7年4月＞ 学術博士
		西洋の文学
その他	講師	小林 幸子 ＜令和7年4月＞ 博士(芸術学)
		音楽の世界
その他	講師	米田 英嗣 ＜令和7年9月＞ 博士(教育学)
		心理学入門
その他	講師	小山 利一 ＜令和9年9月＞ 教育学士
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	惟村 直公 ＜令和7年9月＞ 農学博士
		情報スキル基礎
その他	講師	蔡 暁軍 ＜令和7年4月＞ 修士※(文学)
		中国語 1 a 中国語 1 b 中国語 2 a 中国語 2 b
その他	講師	齋藤 孝 ＜令和7年4月＞ 法学修士
		日本国憲法 法学入門 日本の政治
その他	講師	齋藤 宏文 ＜令和7年4月＞ 博士(学術)
		科学技術と人間
その他	講師	齋藤 宜之 ＜令和7年9月＞ 博士(哲学)
		社会思想入門
その他	講師	佐々木 志門 ＜令和9年9月＞ 修士(工学)
		ユーザーエクスペリエンス
その他	講師	笹野 悦子 ＜令和7年4月＞ 修士※(社会学)
		ジェンダー論入門
その他	講師	佐藤 恵美 ＜令和7年4月＞ 博士(心理学)
		心の健康
その他	講師	篠田 真理子 ＜令和7年4月＞ 修士(学術)
		バイオの世界
その他	講師	柴田 英喜 ＜令和8年9月＞ 工学士
		デザイン思考
その他	講師	清水 弥生 ＜令和7年4月＞ 修士(法律学)
		日常生活と法

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	惟村 直公 ＜令和7年9月＞ 農学博士
		情報スキル基礎
その他	講師	蔡 暁軍 ＜令和7年4月＞ 修士※(文学)
		中国語 1 a 中国語 1 b 中国語 2 a 中国語 2 b
その他	講師	齋藤 孝 ＜令和7年4月＞ 法学修士
		日本国憲法 法学入門 日本の政治
その他	講師	齋藤 宏文 ＜令和7年4月＞ 博士(学術)
		科学技術と人間
その他	講師	齋藤 宜之 ＜令和7年9月＞ 博士(哲学)
		社会思想入門
その他	講師	佐々木 志門 ＜令和9年9月＞ 修士(工学)
		ユーザーエクスペリエンス
その他	講師	笹野 悦子 ＜令和7年4月＞ 修士※(社会学)
		ジェンダー論入門
その他	講師	佐藤 恵美 ＜令和7年4月＞ 博士(心理学)
		心の健康
その他	講師	篠田 真理子 ＜令和7年4月＞ 修士(学術)
		バイオの世界
その他	講師	柴田 英喜 ＜令和8年9月＞ 工学士
		デザイン思考
その他	講師	清水 弥生 ＜令和7年4月＞ 修士(法律学)
		日常生活と法

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	白川(谷村)理恵 ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		Global Studies h フランス語1 a フランス語1 b
その他	講師	調 文明 ＜令和7年4月＞ 修士※(文学)
		映像文化論
その他	講師	神野 郁也 ＜令和8年9月＞ 芸術学修士
		生活空間設計製図2 建築CAD
その他	講師	菅沼 崇 ＜令和7年4月＞ 修士※(教育学)
		心理学入門 人間関係の心理学
その他	講師	菅原 淳史 ＜令和7年4月＞ 修士(人間科学)
		情報スキル基礎 情報リテラシー応用b 情報リテラシー応用c
その他	講師	杉山 春 ＜令和7年4月＞ 文学士
		実践教養講座 f
その他	講師	鈴川 清美 ＜令和7年4月＞ 修士(体育)
		身体運動の科学 a 身体運動の科学 b 健康運動実習 a 健康運動実習 b
その他	講師	鈴木 淳弘 ＜令和7年4月＞ 修士(国際学)
		情報スキル基礎
その他	講師	鈴木 卓 ＜令和7年4月＞ 博士(応用言語学)
		Effective Writing Effective Speaking Active Listening Global Studies c

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	霜田 敦子 ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		CEFR B1
その他	講師	白川(谷村)理恵 ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		Global Studies h フランス語1 a フランス語1 b
その他	講師	調 文明 ＜令和7年4月＞ 修士※(文学)
		映像文化論
その他	講師	神野 郁也 ＜令和8年9月＞ 芸術学修士
		生活空間設計製図2 建築CAD
その他	講師	菅沼 崇 ＜令和7年4月＞ 修士※(教育学)
		心理学入門 人間関係の心理学
その他	講師	菅原 淳史 ＜令和7年4月＞ 修士(人間科学)
		情報スキル基礎 情報リテラシー応用b 情報リテラシー応用c
その他	講師	杉山 春 ＜令和7年4月＞ 文学士
		実践教養講座 f
その他	講師	鈴川 清美 ＜令和7年4月＞ 修士(体育)
		身体運動の科学 a 身体運動の科学 b 健康運動実習 a 健康運動実習 b
その他	講師	鈴木 淳弘 ＜令和7年4月＞ 修士(国際学)
		情報スキル基礎
その他	講師	鈴木 卓 ＜令和7年4月＞ 博士(応用言語学)
		Effective Writing Effective Speaking Active Listening Global Studies c

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	須山 智裕 ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		文学とジェンダー
その他	講師	高野 公三子 ＜令和9年9月＞ 修士(社会デザイン学)
		ファッション企画論※
その他	講師	高橋 佐智子 ＜令和8年4月＞ 修士(生活科学)
		伝統衣服実習 被服実習a
その他	講師	賞雅 技子 ＜令和9年4月＞ 文学士
		道徳教育指導論
その他	講師	高谷 直樹 ＜令和7年4月＞ 学士(工学)
		情報スキル基礎
その他	講師	竹林 和彦 ＜令和7年4月＞ 修士※(教育学)
		地理学

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	鈴木 道生 ＜令和7年9月＞ 博士(農学)
		地球と環境の科学
その他	講師	須山 智裕 ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		文学とジェンダー
その他	講師	高野 公三子 ＜令和9年9月＞ 修士(社会デザイン学)
		ファッション企画論※
その他	講師	高橋 佐智子 ＜令和8年4月＞ 修士(生活科学)
		伝統衣服実習 被服実習a
その他	講師	賞雅 技子 ＜令和9年4月＞ 文学士
		道徳教育指導論
その他	講師	高瀬 雄士 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		生活環境工学
その他	講師	高谷 直樹 ＜令和7年4月＞ 学士(工学)
		情報スキル基礎
その他	講師	田口 順等 ＜令和7年4月＞ 博士(経済学)
		日本の経済
その他	講師	竹林 和彦 ＜令和7年4月＞ 修士※(教育学)
		地理学

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	田中(藤原)亜美 ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		ドイツ語1a ドイツ語1b ドイツ語2a ドイツ語2b
その他	講師	謝 淑愛 ＜令和7年4月＞ Master of Education(Business Management)(マレーシア)
		Global Studies e Global Studies f
その他	講師	張 名揚 ＜令和7年9月＞ 博士(文学)
		東洋思想入門
その他	講師	辻本 衣佐 ＜令和7年9月＞ 修士※(法学)
		法学入門
その他	講師	土屋 陽介 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		情報リテラシー基礎 情報リテラシー応用b 情報リテラシー応用c
その他	講師	寺本(山内)美奈子 ＜令和7年4月＞ 修士(造形)
		生活とデザイン
その他	講師	徳地 昌代 ＜令和7年4月＞ 学士(体育学)
		基礎スポーツ実習d
その他	講師	豊島 陽子 ＜令和7年4月＞ 理学博士
		生命の科学
その他	講師	永井 とも子 ＜令和8年4月＞ 短期大学卒業
		実践教養講座a
その他	講師	中川 理恵子 ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		児童文学入門
その他	講師	仲西 正 ＜令和9年9月＞ 工学博士
		生活材料学

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	田中(藤原)亜美 ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		ドイツ語1a ドイツ語1b ドイツ語2a ドイツ語2b
その他	講師	謝 淑愛 ＜令和7年4月＞ Master of Education(Business Management)(マレーシア)
		Global Studies e Global Studies f
その他	講師	張 名揚 ＜令和7年9月＞ 博士(文学)
		東洋思想入門
その他	講師	辻本 衣佐 ＜令和7年9月＞ 修士※(法学)
		法学入門
その他	講師	土屋 陽介 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		情報リテラシー基礎 情報リテラシー応用b 情報リテラシー応用c
その他	講師	寺本(山内)美奈子 ＜令和7年4月＞ 修士(造形)
		生活とデザイン
その他	講師	徳地 昌代 ＜令和7年4月＞ 学士(体育学)
		基礎スポーツ実習d
その他	講師	豊島 陽子 ＜令和7年4月＞ 理学博士
		生命の科学
その他	講師	永井 とも子 ＜令和8年4月＞ 短期大学卒業
		実践教養講座a
その他	講師	中川 理恵子 ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		児童文学入門
その他	講師	仲西 正 ＜令和9年9月＞ 工学博士
		生活材料学

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	中野 遙 ＜令和7年9月＞ 博士(文学)
		言語学入門
その他	講師	中村 太一 ＜令和7年4月＞ PhD Linguistics (英国)
		Effective Writing
その他	講師	南部(赤石)和香 ＜令和7年9月＞ 博士(商学)
		国際経済の基礎
その他	講師	西野 毅史 ＜令和8年9月＞ 修士(社会福祉学)
		ビジュアルデザインb 情報デザイン演習
その他	講師	西脇 智子 ＜令和7年4月＞ 社会福祉学修士
		オープン講座 b オープン講座 c クォーターオープン講座 a クォーターオープン講座 b
その他	講師	奴田原 諭 ＜令和7年4月＞ 修士※(文学)
		日本の近現代文学
その他	講師	橋本 憲幸 ＜令和7年9月＞ 博士(教育学)
		教育原理 教育課程論
その他	講師	畑農 鋭矢 ＜令和7年4月＞ 博士(経済学)
		日本の経済 数学的思考※
その他	講師	浜守 杏奈 ＜令和9年9月＞ 博士(生活科学)
		調理学及び実習
その他	講師	林 忠正 ＜令和8年4月＞ 修士(法学)
		実践企業分析論 実践企業分析論演習

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	中野 遙 ＜令和7年9月＞ 博士(文学)
		言語学入門
その他	講師	中村 太一 ＜令和7年4月＞ PhD Linguistics (英国)
		Effective Writing
その他	講師	西野 毅史 ＜令和8年9月＞ 修士(社会福祉学)
		ビジュアルデザインb 情報デザイン演習
その他	講師	西脇 智子 ＜令和7年4月＞ 社会福祉学修士
		オープン講座 b オープン講座 c クォーターオープン講座 a クォーターオープン講座 b
その他	講師	奴田原 諭 ＜令和7年4月＞ 修士※(文学)
		日本の近現代文学
その他	講師	橋本 憲幸 ＜令和7年9月＞ 博士(教育学)
		教育原理 教育課程論
その他	講師	畑農 鋭矢 ＜令和7年4月＞ 博士(経済学)
		日本の経済 数学的思考※
その他	講師	浜守 杏奈 ＜令和9年9月＞ 博士(生活科学)
		調理学及び実習
その他	講師	林 忠正 ＜令和8年4月＞ 修士(法学)
		実践企業分析論 実践企業分析論演習

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	林 秀紀 ＜令和7年9月＞ 博士(学術)
		材料加工演習 プロダクトCAD
その他	講師	早田(河方)朋代 ＜令和7年4月＞ 修士(スポーツ科学)
		健康運動実習b 基礎スポーツ実習a
その他	講師	平塚 理恵 ＜令和7年9月＞ 博士(理学)
		生命の科学
その他	講師	平松 恵一郎 ＜令和7年4月＞ 修士(経営管理学)
		メディア論
その他	講師	福田 幸夫 ＜令和7年4月＞ 文学修士
		社会保障論
その他	講師	藤井 章博 ＜令和7年4月＞ 博士(情報工学)
		情報リテラシー応用d
その他	講師	藤井 孝宗 ＜令和7年9月＞ 修士※(経済学)
		国際経済の基礎
その他	講師	藤井 陽子 ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		フランス語1a フランス語1b フランス語2a フランス語2b
その他	講師	藤村 明子 ＜令和8年9月＞ 家政学修士
		被服実習c
その他	講師	藤原 正道 ＜令和7年4月＞ 教育学修士
		言語学入門

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	林 秀紀 ＜令和7年9月＞ 博士(学術)
		<b>基礎造形論</b> 材料加工演習 プロダクトCAD
その他	講師	早田(河方)朋代 ＜令和7年4月＞ 修士(スポーツ科学)
		健康運動実習b 基礎スポーツ実習a
その他	講師	平塚 理恵 ＜令和7年9月＞ 博士(理学)
		生命の科学
その他	講師	平松 恵一郎 ＜令和7年4月＞ 修士(経営管理学)
		メディア論
その他	講師	福田 幸夫 ＜令和7年4月＞ 文学修士
		社会保障論
その他	講師	藤井 章博 ＜令和7年4月＞ 博士(情報工学)
		情報リテラシー応用d
その他	講師	藤井 孝宗 ＜令和7年9月＞ 修士※(経済学)
		国際経済の基礎
その他	講師	藤井 陽子 ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		フランス語1a フランス語1b フランス語2a フランス語2b
その他	講師	藤村 明子 ＜令和8年9月＞ 家政学修士
		被服実習c
その他	<b>教授</b>	藤原 正道 ＜令和7年4月＞ 教育学修士
		言語学入門

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	古川 諒太 ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		日本の伝統文化
その他	講師	堀 智博 ＜令和7年4月＞ 博士（史学）
		日本史
その他	講師	増田 貴之 ＜令和7年4月＞ 修士（学術）
		防災の科学
その他	講師	町田 大輔 ＜令和7年9月＞ 博士（保健学）
		農業と食料
その他	講師	松下 慶太 ＜令和8年4月＞ 博士（文学）
		実践プロジェクトb
その他	講師	松並 知子 ＜令和7年4月＞ 博士（言語文化学）
		ジェンダーと心理
その他	講師	丸川 玲子 ＜令和9年4月＞ 建築学修士
		材料力学
その他	講師	丸田 直美 ＜令和10年4月＞ 博士（被服環境学）
		被服衛生学
その他	講師	三尾 真琴 ＜令和7年9月＞ 国際関係学修士※
		教育原理
その他	講師	光武 智子 ＜令和7年4月＞ 学士（芸術学）
		情報リテラシー応用 a
その他	講師	南 英樹 ＜令和7年4月＞ 体育学修士※
		スポーツ文化論 健康運動実習 a

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	古川 諒太 ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		日本の伝統文化
その他	講師	堀 智博 ＜令和7年4月＞ 博士（史学）
		日本史
その他	講師	増田 貴之 ＜令和7年4月＞ 修士（学術）
		防災の科学
その他	講師	町田 大輔 ＜令和7年9月＞ 博士（保健学）
		農業と食料
その他	講師	松下 慶太 ＜令和8年4月＞ 博士（文学）
		実践プロジェクトb
その他	講師	松並 知子 ＜令和7年4月＞ 博士（言語文化学）
		ジェンダーと心理
その他	講師	丸川 玲子 ＜令和9年4月＞ 建築学修士
		材料力学
その他	講師	丸田 直美 ＜令和10年4月＞ 博士（被服環境学）
		被服衛生学
その他	講師	三尾 真琴 ＜令和7年9月＞ 国際関係学修士※
		教育原理
その他	講師	光武 智子 ＜令和7年4月＞ 学士（芸術学）
		情報リテラシー応用 a
その他	講師	南 英樹 ＜令和7年4月＞ 体育学修士※
		スポーツ文化論 健康運動実習 a

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	嶺崎 寛子 ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		地域研究 a
その他	講師	宮上（鷺頭）久仁子 ＜令和7年4月＞ Master of Arts in D. H. Lawrence and the Modern Age （英国）
		Integrated English b
その他	講師	宮武 恵子 ＜令和9年9月＞ 博士（芸術学）
		ファッション企画論※
その他	講師	宮平 健介 ＜令和7年4月＞ 修士（体育科学）
		基礎スポーツ実習 a 基礎スポーツ実習 b
その他	講師	村木 晃 ＜令和9年4月＞ 修士（教育学）
		生徒・進路指導論
その他	講師	榎山 メリダ ＜令和7年4月＞ Licenciado en Educacion Especialidad:Ciencias（ペ ルー）
		スペイン語 1 a スペイン語 1 b スペイン語 2 a スペイン語 2 b
その他	講師	森 孝夫 ＜令和7年9月＞ 文学修士
		教職入門
その他	講師	森 弘治 ＜令和7年9月＞ Master of Fine Arts（米国） M. S. Vis. S.（米国）
		情報リテラシー応用 b
その他	講師	森 弘之 ＜令和7年4月＞ 理学博士
		宇宙の科学
その他	講師	森山（安藤）あゆみ ＜令和7年9月＞ 修士※（政治学）
		国際政治の基礎

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	宮上（鷺頭）久仁子 ＜令和7年4月＞ Master of Arts in D. H. Lawrence and the Modern Age （英国）
		Integrated English b
その他	講師	宮武 恵子 ＜令和9年9月＞ 博士（芸術学）
		ファッション企画論※
その他	講師	宮平 健介 ＜令和7年4月＞ 修士（体育科学）
		基礎スポーツ実習 a 基礎スポーツ実習 b
その他	講師	村木 晃 ＜令和9年4月＞ 修士（教育学）
		生徒・進路指導論
その他	講師	榎山 メリダ ＜令和7年4月＞ Licenciado en Educacion Especialidad:Ciencias（ペ ルー）
		スペイン語 1 a スペイン語 1 b スペイン語 2 a スペイン語 2 b
その他	講師	森 孝夫 ＜令和7年9月＞ 文学修士
		教職入門
その他	講師	森 弘治 ＜令和7年9月＞ Master of Fine Arts（米国） M. S. Vis. S.（米国）
		情報リテラシー応用 b
その他	講師	森 弘之 ＜令和7年4月＞ 理学博士
		宇宙の科学
その他	講師	森山（安藤）あゆみ ＜令和7年9月＞ 修士※（政治学）
		国際政治の基礎

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	八木 一行 ＜令和7年9月＞ 博士(農学)
		地球と環境の科学
その他	講師	八木 浩雄 ＜令和7年4月＞ 修士※(人文学)
		情報スキル基礎 教育学
その他	講師	山岡 均 ＜令和7年4月＞ 博士(理学)
		宇宙の科学
その他	講師	山口 照也 ＜令和8年4月＞ 工学士
		インテリアデザイン論 インテリアデザイン演習 インテリアコーディネート論 インテリアコーディネート演習
その他	講師	山谷 真名 ＜令和8年4月＞ 修士(家庭経営学)
		女性とキャリア形成
その他	講師	齋 三善 ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		コリア語 1 a コリア語 1 b コリア語 2 a コリア語 2 b
その他	講師	横田 順子 ＜令和7年4月＞ 修士※(文学)
		児童文学入門 世界のファンタジー
その他	講師	吉原 学 ＜令和7年4月＞ M. A. TESOL (米国)
		Integrated English b Global Studies h
その他	講師	余村 朋樹 ＜令和7年9月＞ 修士(人間科学)
		人間関係の心理学
その他	講師	劉 素英 ＜令和7年4月＞ 文学修士
		中国語 1 a 中国語 1 b 中国語 2 a 中国語 2 b

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	八木 浩雄 ＜令和7年4月＞ 修士※(人文学)
		情報スキル基礎 教育学
その他	講師	山岡 均 ＜令和7年4月＞ 博士(理学)
		宇宙の科学
その他	講師	山口 照也 ＜令和8年4月＞ 工学士
		インテリアデザイン論 インテリアデザイン演習 インテリアコーディネート論 インテリアコーディネート演習
その他	講師	山谷 真名 ＜令和8年4月＞ 修士(家庭経営学)
		女性とキャリア形成
その他	講師	齋 三善 ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		コリア語 1 a コリア語 1 b コリア語 2 a コリア語 2 b
その他	講師	横田 順子 ＜令和7年4月＞ 修士※(文学)
		児童文学入門 世界のファンタジー
その他	講師	吉原 学 ＜令和7年4月＞ M. A. TESOL (米国)
		Integrated English b Global Studies h
その他	講師	余村 朋樹 ＜令和7年9月＞ 修士(人間科学)
		人間関係の心理学
その他	講師	劉 素英 ＜令和7年4月＞ 文学修士
		中国語 1 a 中国語 1 b 中国語 2 a 中国語 2 b

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
その他	講師	若山 昇 ＜令和7年4月＞ 修士※(学術)	その他	講師	若山 昇 ＜令和7年4月＞ 修士※(学術)
		情報スキル基礎 情報リテラシー応用 e			情報スキル基礎 情報リテラシー応用 e
			その他	講師	渡邊 均 ＜令和6年9月＞ 博士(工学)
					情報リテラシー基礎
その他	講師	和波 里翠 ＜令和7年9月＞ 学士(芸術学)	その他	講師	和波 里翠 ＜令和7年9月＞ 学士(芸術学)
		情報リテラシー応用 e			情報リテラシー応用 e
その他	講師	薬科 智恵 ＜令和7年4月＞ 博士(学術)	その他	講師	薬科 智恵 ＜令和7年4月＞ 博士(学術)
		世界の宗教			世界の宗教

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。  
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
  - ・ 改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にある「担当授業科目名」に下線を引いてください。(大学院、高等専門学校は除く)
  - ・ 教員がサバティカル等で不在の間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年4月1日～令和8年3月31日 横塚 基（主専）・教授、サバティカル取得。</li> <li>・令和7年4月1日～令和8年3月31日 清田夏代 その他・教授、サバティカル取得。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「小川ゆか」基幹教員への変更により、「その他・助教」から「基（主専）・助教」に変更。</li> <li>・「塩川宏綱」本学退職により、「その他・教授」から「その他・講師」に変更。</li> <li>・「渡辺敏」昇格により、「その他・准教授」から「その他・教授」に変更。</li> <li>・「久保真子」昇格により、「兼任・講師」から「その他・准教授」に変更。</li> <li>・「藤原正道」基幹教員 教授就任により、「その他・講師」から「その他・教授」に変更。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「奈良典子」博士の学位取得により、「修士（教育学）」から「博士（医学）」に変更。</li> <li>・「有賀暁子」保有学位誤記により、「学士（国文学）」から「学士（文学）」に変更。</li> <li>・「楠見清」保有学位誤記により、「哲学学士」から「学士（哲学）」に変更。</li> </ul>
<p>【共通教育科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「実践入門セミナー」に佐藤健 基（主専）教授、一色ヒロタカ 基（主専）准教授、滝澤愛 基（主専）准教授、小川ゆか 基（主専）・助教を追加し、安齋利典 基（主専）教授、大川知子 基（主専）教授、塩原みゆき 基（主専）教授、内藤将俊 基（主専）教授を担当から削除。</li> <li>・「Integrated English a」にBulach, Juergen その他・教授、Valise, Kinsella その他・講師を追加。</li> <li>・「情報リテラシー基礎」に渡邊均 その他・教授。</li> <li>・「CEFR B1」に霜田敦子 その他・講師を追加。</li> <li>・「Global Studies d」に寛慎治 その他・教授を追加し、山崎壮 その他・教授を担当から削除。</li> <li>・「Global Studies e」から清田夏代 その他・教授を担当から削除。</li> <li>・「海外短期インターンシップ」、「海外長期インターンシップ」に中山誠一 その他・教授を担当に追加し、粟津俊二 その他・教授を担当から削除。</li> <li>・「Study Abroad a」、「Study Abroad b」、「Study Abroad c」、「Study Abroad d」、「グローバルインターンシップ a」、「グローバルインターンシップ b」に中山誠一 その他・教授を担当に追加。</li> <li>・「サポカルチャー論」に鏡征爾 その他・講師を追加し、大倉恭輔 その他・講師を担当から削除。</li> <li>・「くらしの化学」から山崎壮 その他・教授を担当から削除。</li> <li>・「生活環境の科学」から横塚 基（主専）・教授を担当から削除。</li> <li>・「地球と環境の科学」に鈴木道生 その他・講師を追加し、八木一行 その他・講師を担当から削除。</li> <li>・「実践プロジェクトc」に齋藤達也 その他・講師を追加し、椎原伸博 その他・教授を担当から削除。</li> <li>・「女性教育とジェンダー」から清田夏代 その他・教授を担当から削除。</li> <li>・「国際経済の基礎」から南部和香 その他・講師を担当から削除。</li> <li>・「日本の経済」に田口順等 その他・講師を追加し、猪瀬武則 その他・講師を担当から削除。</li> <li>・「地域研究a」に池田昭光 その他・講師を追加し、嶺崎寛子 その他・講師を担当から削除。</li> <li>・「健康運動実習a」に上向のり子 その他・講師を追加。</li> <li>・「基礎スポーツ実習a」に芦名悦生 その他・講師を追加し、泉敏郎 その他・講師を担当から削除。</li> <li>・「実践教養講座b」から横塚 基（主専）・教授を担当から削除。</li> <li>・「実践教養講座h」にSvetlana KORNEEVA その他・准教授、諏訪友亮 その他・准教授、齋藤達也 その他・講師を担当に追加し、稲垣伸一 その他・教授、佐々木真理 その他・教授、椎原伸博 その他・教授を担当から削除。</li> <li>・「実践教養講座i」に寛慎治 その他・教授、長谷川めぐみ その他・教授、松岡康浩 その他・教授、大道公秀 その他・准教授、中野美樹 その他・准教授、森川希 その他・准教授を追加し、山崎壮 その他・教授を担当から削除。</li> <li>・「オープン講座a」に深澤晶久 その他・教授を追加。</li> </ul>
<p>【専門教育科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境デザイン学入門」から橋弘志 基（主専）教授、横塚 基（主専）教授を担当から削除。</li> <li>・「デザイン基礎演習b」に梅澤豪太郎 その他・講師を追加し、内藤将俊 基（主専）教授を担当から削除。</li> <li>・「色彩学」に河西大介 その他・講師を追加し、横塚 基（主専）教授を担当から削除。</li> <li>・「基礎造形論」に林秀紀 その他・講師を追加し、安齋利典 基（主専）教授を担当から削除。</li> <li>・「設計製図基礎」に小川貴之 その他・講師を追加し、橋弘志 基（主専）教授を担当から削除。</li> <li>・「生活環境工学」に高瀬雄士 その他・講師を追加し、横塚 基（主専）教授を担当から削除。</li> <li>・「環境デザイン特論a」に安齋利典 基（主専）教授を追加し、橋弘志 基（主専）教授を担当から削除。</li> <li>・「環境デザイン特論b」から横塚 基（主専）教授を担当から削除。</li> </ul>

(注) 変更内容を簡易書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。

**原則としてA C教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。**

- なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります）
- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教育研究に従事する必要基幹教員数（α）の4分の3以上
10	5	8
名	名	名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。  
 ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教授	准教授	講師	助教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（A'）	助手（A''）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（B'）	助手（B''）
7	3	0	0	10	10	8	7	3	0	1	11	11	8
(7)	(3)	(0)	(0)	(10)	(10)	(8)							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（C'）	助手（C''）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（D'）	助手（D''）
7	3	0	1	11	11	8	7	3	0	1	11	11	8
[0]	[0]	[0]	[1]	[1]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[1]	[1]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基一」及び「基専」の計）」として記入してください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。  
 また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」（A'）」欄には「-」を記入してください。  
 ・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
70	0	2
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二桁書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】  

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{11}{10} = \boxed{110} \%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】  

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{11}{10} = \boxed{110} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C''）}}{\text{設置時の計画（A''）}} = \frac{8}{8} = \boxed{100} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。  
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」              |
| ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」          |

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。（学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）  
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」              |
| ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」          |

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{0}{11} = \frac{0}{11} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

0 人

(注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。  
 ・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注)・定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。  
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和7年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。  【届出】 遵守事項	完成年度前に定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員が2名いる。当該基幹教員2名は、定年規程の定年延長の定めにより完成年度まで定年を延長することが決定している。 (7)	当該基幹教員の退職後には、学科教員の年齢構成に十分配慮しつつ、教育研究活動を担保できる基幹教員を採用する。(7)
認 可 時 (令和7年)	人間社会学部人間社会学科、社会デザイン学科の収容定員超過の是正に努めること。  【届出】 遵守事項	人間社会学部人間社会学科の収容定員充足率は、令和6年度の学生数474名と収容定員400名の1.18から、令和7年度は学生数484名と収容定員400名の1.21であった。人間社会学部社会デザイン学科の収容定員充足率は、令和5年度の学生数97名と収容定員80名の1.21から、令和7年度は学生数199名と収容定員160名の1.24であった。入学者の適正管理に努めたが入学者の歩留まりが予想に反する結果となった。 (7)	昨年度よりも超過率が高くなったことを勘案し、入学者の歩留まり予想の改善およびその他の方策も検討のうえ、今後も定員の適正管理に留意して入学定員の確保に引き続き努めていく。(7)
認 可 時 (令和7年)	国際学部国際学科の収容定員超過の是正に努めること。  【届出】 遵守事項	国際学部国際学科の収容定員充足率は、令和6年度の学生数142名と収容定員120名の1.18から、令和7年度は学生数291名と収容定員240名の1.21であった。入学者の適正管理に努めたが入学者の歩留まりが予想に反する結果となった。(7)	昨年度よりも超過率が高くなったことを勘案し、入学者の歩留まり予想の改善およびその他の方策も検討のうえ、今後も定員の適正管理に留意して入学定員の確保に引き続き努めていく。(7)

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6) (7)」と記載してください。

**【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<環境デザイン学部 環境デザイン学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注)・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>実践女子大学教育研究センター 規程 第2条2(目的)、第3条(11)(12)(業務)、第14条(FDの実施報告及び公表)</p> <p>実践女子大学協議会 規程 第1条(目的)、第2条(7)(8)(審議事項)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>実践女子大学教育研究センター委員会 年間10回開催</p> <p>実践女子大学協議会 年間47回開催</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>実践女子大学教育研究センターにてFDを推進し、当センターのFDワーキンググループにて活動を実施している。当センターは、全学の教育に係る諸施策の立案及びその推進を図るとともに、共通教育の企画・運営を行うことにより、本学の教育の充実・発展に寄与することを目的としている。また、本学の教育内容及び授業方法等の改善と向上を目的として、実践女子大学協議会の方針に基づき、ファカルティ・ディベロップメントを推進している。</p> <p>実践女子大学協議会とは、本学大学及び大学院の教学関係管理・運営に関する事項を審議するために置かれている。授業の内容及び授業方法の改善と向上を目的としたファカルティ・ディベロップメントの基本方針に関する事項および教育研究活動等の効果的な運営のための、教職員の能力及び資質の向上を目的としたスタッフ・ディベロップメントの基本方針に関する事項も審議事項となる。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FD、SD研修会</li> <li>・授業方法・授業内容の改善に関する取り組み</li> <li>・成績評価の検証</li> <li>・学生による授業評価アンケート、フィードバック</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <p>前年度末までにFD・SD実施計画を策定し、教職員へ周知する。開催日時、詳細については教職員専用グループウェアにて通知する。校務等で参加できなかった教職員については、後日、研修会の収録ビデオを配信し研修を行う。</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FD研修会           <ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善・学生の主体的な学びの促進「生成AIの動向と大学教育」2024年7月11日 参加教員77名</li> <li>授業改善・学生の主体的な学びの促進「本学のキャリア支援について」2024年11月14日 参加教員99名</li> </ul> </li> <li>・授業評価アンケート ③のとおり(全授業対象)</li> </ul>
---

・ F D ・ S D 研修会

- 学生支援「心の支援 青年期のメンタルヘルス」2024年6月13日 参加教員66名
- 学生支援「グローバルキャリア構想について」2024年10月10日 参加教員28名
- 内部質保証「教育プロジェクト報告会」2025年2月13日 参加教員100名
- 高大連携「交流機会の拡大」グループワーク 2024年6月27日 参加教員87名
- 社会連携「社会連携の進捗報告と事例共有」2024年12月12日 参加教員105名
- 研究推進関係「研究費マニュアル説明会」2024年4月18日、25日 参加教員26名
- 研究推進関係「科研費公募説明会」2024年7月18日、23日 参加教員27名
- 研究推進関係「外部資金獲得のための動画講座」2024年7月21日-2024年9月18日 参加教員22名
- 研究推進関係「研究活動に関するコンプライアンス研修」2025年3月14日-2025年3月31日 参加教員87名
- 情報セキュリティ「情報セキュリティ研修」2025年2月13日 参加教員21名
- 新採用教員研修会 2024年4月5日 参加教員15名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

F D 研修の内容、授業アンケート結果に基づき各教員は本学の教育研究上の目的を達成するための資質・能力を備え授業の改善や授業方法の向上へ役立てるよう取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期 7月実施 後期 12月～1月実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教員へは担当授業毎の集計評価結果を学習支援システム（LMS）に公開。  
教員は集計結果に基づき学生へフィードバックを実施。
- ・学生へは当該履修授業の集計結果を学習支援システム（LMS）に公開。
- ・本学ホームページへ学科・課程毎および全体の集計結果を公開。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
環境デザイン学部は、地域社会におけるコミュニティの活性化、およびよりよい社会生活の実現を目指し、衣環境、モノ環境、住環境の視点を踏まえ、これらを融合的に結びつけて提案する総合デザインの視点から、より豊かな環境づくりに貢献できる人材の育成を進める。  
アパレル・ファッション分野、プロダクト・インテリア分野、建築・住環境デザイン分野の各授業科目を学ぶことで、生活環境、都市環境、社会環境に関わる各分野の専門的な知識とデザイン力を培う。また、総合デザイン分野の科目を通じて、各分野で学んだ様々なスキルを活かし、地域・社会の中にある社会的な課題を対象に、課題発見力と問題解決のための提案力、そしてさまざまな主体と協働・共創する力を養成する。  
生活環境、都市環境、社会環境などにわたって幅広い視点から環境を捉え、デザイン行為によって環境にどのような改善をもたらすことができるのか、その影響や相互関係を多様な視点から理解し、各分野で学んだ様々なスキルを総合的に用いて、モノ・ヒト・コトのデザインを含めたデザイン力によって社会課題を解決することができる人材を育成を目標としている。  
今後は、人材育成の目的達成に向け、日常的に学修成果の達成状況について点検・評価を行い、授業の工夫・改善、教育内容の充実に向けた取り組みを進めて行く。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期  
・令和7年12月1日 公表（予定）

b 公表方法  
・大学ホームページ上に公開予定（令和8年3月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画  
・令和9年に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中。

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [ (有) ・ 無 ]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 その他 ( ) ]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

(目的)

- 第1条 実践女子大学及び実践女子大学大学院（以下「本学」という。）の教学関係管理・運営に関する事項を審議するために、実践女子大学協議会（以下「大学協議会」という。）を置く。
- 2 大学協議会は、学長が教学の重要事項を決定するに当たり、教授会及び研究科委員会（以下「教授会等」という。）の意見を聴き、十分に協議を行う。
  - 3 大学協議会は、本学の教育課程の編成に関する全学的な方針を策定し、その検証・評価を行う。
  - 4 大学協議会は、本学の教育の質保証の責任を担い、自己点検・評価等の検証結果を改善・改革に反映するための方針を協議する。

(審議事項)

第2条 大学協議会は、次の事項を審議する。

- (1) 理事会付議事項である学部・学科・研究科・専攻の設置及び廃止並びに定員に関する事項
  - (2) 理事会付議事項である学則の改廃に関する事項
  - (3) 常任理事会付議事項である教学関係規程の制定及び改廃に関する事項
  - (4) 教員人事計画及び教員の採用・昇任に関する事項
  - (5) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
  - (6) 奨学金に関する事項
  - (7) 授業の内容及び授業方法の改善と向上を目的としたファカルティ・ディベロップメントの基本方針に関する事項
  - (8) 教育研究活動等の効果的な運営のための、教職員の能力及び資質の向上を目的としたスタッフ・ディベロップメントの基本方針に関する事項
  - (9) 前各号に掲げるもののほか、教育研究に関する事項で、学長が予め教授会等の意見を聴取することが必要と認めた事項
  - (10) 第1号から第8号に掲げるもののほか、教授会等が審議し学長に提出された意見のうち、学長が審議が必要と認めた事項
- 2 前項第8号の審議にあたっては、事前に人事担当理事と協議するものとする。

(構成員)

第3条 大学協議会の構成員は、次のとおりとする。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 各学部長
- (4) 各研究科委員長
- (5) 大学教育研究センター長
- (6) 学生総合支援センター長
- (7) 教学事務局長
- (8) 学長室部長
- (9) 学生総合支援センター副センター長（事務職員）
- (10) 国際交流推進部長
- (11) 研究推進室部長
- (12) その他学長が必要と認めた者

(招集・議長)

第4条 大学協議会は、学長が招集し、議長となる。

2 学長に事故あるとき又は学長が欠けたときは、副学長がその職務を代行する。  
(成立)

第5条 大学協議会は、構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。

2 学長は、必要に応じて構成員以外の者に出席を求め、意見を聴くことができる。

(学長の決定)

第6条 学長は、第2条に定める審議事項について、前条の規定により審議された事項を参酌し、決定する。

2 学長は、大学協議会における再審議が必要と認めたときは、改めて大学協議会にて審議を行うことができる。

(決定事項の報告等)

第7条 学長は、大学協議会で審議した理事会付議事項及び常任理事会付議事項について、常任理事会に付議する。

2 学長は、前条で決定した事項のうち、学園の経営にかかわる重要事項について、常任理事会に報告し、承認を得るものとする。

3 学部長は、大学協議会で協議し、学長が決定した学部運営上必要な事項を学部教授会に報告するものとする。

4 研究科委員長は、大学協議会で協議し、学長が決定した研究科運営上必要な事項を研究科委員会に報告するものとする。

(任期)

第8条 第3条第12号の構成員の任期は1年とする。

2 前項以外の構成員の任期は、役職の任期とする。

(事務)

第9条 大学協議会の事務は、学長室が行う。

(大学短大協議会)

第10条 学長は、大学・短期大学の共通事項を審議するため、実践女子大学短期大学部協議会と合同で開催することができる。

2 前項の合同で行う協議会を「大学短大協議会」と称し、その運営は、大学協議会に準ずる。

(改廃)

第11条 この規程の改廃については、大学協議会の議を経て、学長が決定し、常任理事会に付議する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月23日改正)

この改正規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成28年4月13日改正)

この改正規程は、平成28年4月13日から施行する。

附 則(平成29年4月26日改正)

この改正規定は、平成29年4月26日から施行する。

附 則(2019年3月13日改正)

この改正規程は、2019年4月1日から施行する。

附 則(2022年6月1日改正)

この改正規程は、2022年6月1日から施行する。

## ○実践女子大学教育研究センター規程

(平成22年3月1日制定)

改正 平成25年7月24日改正 平成27年3月19日改正  
平成28年3月10日改正 平成29年3月15日改正  
平成30年3月22日改正 2019年3月13日改正  
2022年6月1日改正

(趣旨)

第1条 この規程は、実践女子大学学則第11条第2項に基づき、実践女子大学教育研究センター(以下「センター」という。)に関する必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、全学の教育に係る諸施策の立案及びその推進を図るとともに、共通教育の企画・運営を行うことにより、本学の教育の充実・発展に寄与することを目的とする。

2 センターは、本学の教育内容及び授業方法等の改善と向上を目的として、大学協議会の方針に基づき、ファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。)を推進する。

(業務)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる業務を行う。

(1) 教育の改革、充実に向けた企画立案、調査研究及び各学部学科の教育課程編成の全体調整に関すること

(2) 学事日程、開講授業科目・コマ数の全体調整、時間割編成の基本方針に関すること

(3) 履修、成績評価、単位修得等、教務に関する重要なこと

(4) 共通教育の教育課程の編成に係る企画・運営に関すること

(5) 共通教育科目担当教員の選考に関すること

(6) 共通教育と専門教育との連携に関すること

(7) 学習支援に関すること

(8) 高大連携に関すること

(9) 教員養成に関する重要事項

①教員養成に関する基本方針の策定

②教職課程の設置及び廃止に関すること

③教職課程カリキュラム編成及び実施に関すること

④教職課程科目担当教員の選考に関すること

⑤教職課程に係る教育の自己点検・評価に関すること

(10) 特別任用教員の人事に関すること

(11) FDの実施に関すること。

(12) 学生による授業評価の実施に関すること。

(13) その他全学の教育に関すること

(センター長)

第4条 センターに、学長を補佐し、センターの業務を統轄する大学教育研究センター長(以下「センター長」という。)をおく。

2 センター長は、本学の専任教員の中から、学長が全学教授会の議を経て任命する。

3 センター長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(副センター長)

第5条 前条に定めるセンター長を補佐するために、センターに副センター長若干名をおく。

2 副センター長は、本学の専任教員の中から、センター長と合議の上、学長が大学協議会の議を経て任命する。

3 副センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 センター長に事故あるときは、あらかじめセンター長が指名した副センター長が、センター長の職務を行う。

(特別任用教員)

第6条 センターに、必要に応じて、特別任用教員をおくことができる。

(センター委員会)

第7条 センターに、第3条に掲げる業務を遂行するために、センター委員会をおく。

2 センター委員会は、次の各号に掲げる者で構成する。

(1) センター長

(2) 副センター長

(3) 各部門長

(4) 文学部長、生活科学部長、人間社会学部長

(5) 各学科・課程主任

(6) 言語文化教育研究センター長

(7) 教職センター長

(8) 教育総合サポート部長

(9) その他、センター長が必要と認めた者

3 委員は学長が委嘱する。

4 第2項第1号から第8号までの委員は、その職を退いたとき、委員の任期も終了する。第2項第9号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

5 委員長は、センター長がこれに当たる。

6 委員長は、センター委員会を招集し議長となり、審議の結果を全学教授会に報告又は提案する。

7 センター委員会は、教育総合サポート部との緊密な連絡のもとに運営される。

8 センター委員会は、議長が必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

9 センター委員会の運営を補佐するために幹事若干名をおく。幹事は教育総合サポート部職員がこれに当たる。

10 センター委員会の事務は、教育総合サポート部が行う。

11 センター委員会は、原則として月1回会議を開く。

12 センター委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ議事を開き、議決することができない。

13 センター委員会の議事は、出席委員の過半数をもってこれを決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(教務部門)

第8条 センターの業務を円滑に実施するために、センター委員会の下に、教務部門をおく。

2 教務部門は、履修、成績評価、単位修得等、教務に係る連絡調整業務を行う。

3 教務部門は、教育総合サポート部、大学図書館及びキャリアサポート部と緊密に連携する。

4 事務は教育総合サポート部が行う。

(部門員)

第9条 教務部門は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 各学科から選出された専任教員各1名
  - (2) 図書館学課程から選出された専任教員1名
  - (3) 言語文化教育研究センターから選出された専任教員1名
  - (4) 教職センターから選出された専任教員1名
  - (5) センター長が推薦し、センター委員会が承認した者
- 2 前項各号の部門員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
  - 3 部門員は学長が委嘱する。

(部門長・副部門長)

第10条 教務部門に、部門の業務を統括するため、部門長をおく。

- 2 部門長は、部門会議の推薦に基づき、センター長が指名する。
- 3 部門長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 教務部門の運営を補佐するために各学部1名ずつ副部門長をおく。部門長に事故あるときは、あらかじめ部門会議の議を経て、部門長の指名した副部門長がその職務を代行する。

(部門会議)

第11条 教務部門の業務を円滑に実施するために、部門会議を開く。

- 2 部門長は、部門会議を招集し議長となり、審議の結果をセンター委員会に報告又は提案する。
- 3 部門会議は、部門員の3分の2以上の出席がなければ議事を開き、議決することができない。
- 4 部門会議の議事は、出席部門員の過半数をもってこれを決し、可否同数のときは、部門長の決するところによる。

(ワーキンググループ)

第12条 センター委員会は、必要に応じてワーキンググループを設けることができる。

- 2 センター委員会の決定に基づき、ワーキンググループに委員以外の者を加えることができる。
- 3 ワーキンググループの事務は、教育総合サポート部が行う。

(運営)

第13条 この規程に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、センター委員会が定める。

(FDの実施報告及び公表)

第14条 センターは、本学におけるFDの実施状況を、年1回報告書にまとめて学長に提出し、公表するものとする。

(短期大学部との協議)

第15条 センター委員会及び教務部門は、必要に応じて、短期大学部の対応組織と合同で会議を開催する。

(改廃)

第16条 この規程の改廃については、全学教授会の議を経て、学長が決定し、常任理事会に付議する。

## 附 則

- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成12年4月1日制定の実践女子大学教務委員会規程は、平成22年3月31日をもってこれを廃止する。
- 3 平成10年7月16日制定の実践女子大学情報教育委員会規程は、平成22年3月31日をもってこれを廃止する。

4 平成12年4月1日制定の実践女子大学教務部長に関する内規は、平成22年3月31日をもってこれを廃止する。

附 則(平成25年7月24日改正)

この改正規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月19日改正)

この改正規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月10日改正)

この改正規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成29年3月15日改正)

この改正規程は、平成29年3月15日改正から施行する。

附 則(平成30年3月22日改正)

- 1 この改正規程は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 第7条第1項第2号の規定にかかわらず、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの1年間は、教養教育部門はおかず、その業務は、第16条に定めるワーキンググループが、これにあたる。

附 則(2019年3月13日改正)

- 1 この改正規程は、2019年4月1日から施行する。
- 2 平成17年7月27日制定の実践女子大学FD推進に関する規程は、2019年3月31日をもってこれを廃止する。

附 則(2022年6月1日改正)

この改正規程は、2022年6月1日から施行する。